

船橋市リハビリセンター
令和6年度事業報告書

指定管理者：医療法人社団輝生会

目次

| | | |
|----|-----------------------------|----|
| I | 管理の実施状況 | 1 |
| 1 | センター基盤の整備 | 1 |
| | (1) 組織編成 | 1 |
| | (2) 情報システムの構築 | 2 |
| | (3) 職員の資質向上 | 2 |
| 2 | サービス機能 | 3 |
| | (1) 職員配置 | 3 |
| | (2) 提供したサービス | 3 |
| 3 | 地域連携・ネットワーキング | 4 |
| | (1) 回復期病棟を持つ病院との連携 | 4 |
| | (2) 医師会との連携 | 5 |
| | (3) 地域の診療所や介護サービス事業者との連携 | 5 |
| II | 利用状況 | 7 |
| 1 | 外来患者 | 7 |
| | (1) 外来リハビリテーション患者数 | 7 |
| | (2) 月別外来患者（延べ人数）内訳 | 7 |
| | (3) 年齢別・男女別外来患者内訳 | 9 |
| | (4) 疾患別外来患者内訳 | 10 |
| | (5) 地域別外来患者内訳 | 11 |
| 2 | 通所リハビリテーション利用者 | 12 |
| | (1) 通所リハビリテーション利用者数 | 12 |
| | (2) 月別通所リハビリテーション実績（延べ人数）内訳 | 12 |
| | (3) 年齢別・男女別通所リハビリテーション利用者内訳 | 13 |
| | (4) 疾患別通所リハビリテーション利用者内訳 | 13 |
| | (5) 介護度別分類 | 14 |
| | (6) 地域別通所リハビリテーション利用者内訳 | 15 |
| 3 | 訪問リハビリテーション利用者 | 16 |
| | (1) 訪問リハビリテーション利用者数 | 16 |
| | (2) 月別訪問リハビリテーション実績（延べ人数）内訳 | 16 |
| | (3) 年齢別・男女別訪問リハビリテーション利用者内訳 | 17 |
| | (4) 疾患別訪問リハビリテーション利用者内訳 | 17 |
| | (5) 介護度別分類 | 18 |
| | (6) 地域別訪問リハビリテーション利用者内訳 | 19 |
| 4 | 訪問看護利用者 | 20 |
| | (1) 訪問看護利用者数 | 20 |

| | |
|---|----|
| (2) 月別訪問看護利用者（延べ人数）内訳 | 20 |
| (3) 年齢別・男女別訪問看護利用者内訳 | 21 |
| (4) 疾患別訪問看護利用者内訳 | 21 |
| (5) 介護度別分類 | 22 |
| (6) 地域別訪問看護利用者内訳 | 23 |
| 5 地域リハビリテーション拠点事業 | 24 |
| 6 リハビリ事業 | 24 |
| (1) パワーリハビリ教室 | 24 |
| (2) パワーリハビリフォローアップ | 25 |
| (3) プールリハビリ | 25 |
| III 収支状況 | 27 |
| IV 中期目標の達成状況及び中期行動計画の実施状況報告 | 29 |
| (1) 目標1 利用者アンケートによる患者満足度（外来患者について） | 29 |
| (2) 目標2 各利用者がリハビリテーションマネジメントにおいて設定した目標の達成率（通所リハビリ利用者について） | 31 |
| (3) 目標3 利用者に直接提供する職員のうち、勤続年数7年以上の者の占める割合100分の30以上 | 32 |
| (4) 目標4 利用者アンケートによる患者満足度（通所リハビリ利用者について） | 33 |
| (5) 目標5 各利用者がリハビリテーションマネジメントにおいて設定した目標の達成率（訪問リハビリ利用者について） | 35 |
| (6) 目標6 利用者に直接提供する理学療法士・作業療法士又は言語聴覚士のうち、勤続年数3年以上の者の占める割合100分の30以上 | 38 |
| (7) 目標7 利用者アンケートによる患者満足度（訪問リハビリ利用者について） | 39 |
| (8) 目標8 利用者アンケートによる患者満足度（訪問看護利用者について） | 41 |
| (9) 目標9 利用者アンケートによる患者満足度（リハビリ事業利用者について） | 42 |
| (10) 目標10 診療所部門 経常収支比率 | 43 |
| (11) 目標11 訪問看護部門 経常収支比率 | 45 |
| (12) 目標12 毎年度実施計画を立て地域リハビリテーション拠点事業を行う | 46 |
| (資料) | |
| 資料1 組織図 | |
| 資料2 センター内外の研修・学会 | |
| 資料3 地域リハビリテーション拠点事業実績 | |
| 資料4 外来患者アンケート | |
| 資料5 通所リハビリテーションアンケート | |
| 資料6 訪問リハビリテーションアンケート | |
| 資料7 訪問看護アンケート | |
| 資料8 地域リハビリテーション拠点事業アンケート | |

I 管理の実施状況

1 センター基盤の整備

(1) 組織編成

これまで通所リハビリ・訪問リハビリの管理者（マネジャー）は兼務であったが、令和6年4月より新たに通所リハビリ、訪問リハビリに管理者（マネジャー）を1名ずつ配置した。訪問看護の所長が定年により令和6年10月より新しい所長へ変更となった。下記の体制については変更なく運営している。センター長を補佐する役割として、副センター長を配置。以下、クリニック部門、サポート部門、船橋市委託事業部門の3つのセクションを配置し、それぞれの部門においてセンターの基本となるクリニック事業（外来リハ・通所リハ・訪問リハ）、リハビリ事業（パワーリハビリ教室・フォローアップ・プールリハビリ）、地域リハビリテーション拠点事業、訪問看護事業、職員の資質向上、医療安全、個人情報保護等センターを運営する上での個別の重要事項については、専門の委員会が担当する体制とした。各事業と主な委員会の役割は次のとおり。（資料1 組織図）

A クリニック事業

クリニックは、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、介護福祉士が所属し、外来・通所・訪問リハビリテーションの患者の診療及びリハビリテーションを担当した。

B 訪問看護

訪問看護は看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が所属し、訪問看護ステーションの利用者の看護及びリハビリテーションを担当した。

C リハビリ事業（パワーリハビリ教室・フォローアップ・プールリハビリ）

リハビリ事業は、理学療法士、健康運動指導士を配置し、利用者の筋力マシンを使用するトレーニングの相談やアドバイス、プールリハビリの水中歩行訓練等を担当した。

D 地域リハビリテーション拠点事業

地域リハビリテーション拠点事業は、ソーシャルワーカーを配置し、リハビリについての啓発活動、リハビリ関係者の育成、医療及び介護の連携強化、リハビリの実態把握、リハビリの総合相談を担当した。

E サポート部

サポート部は、事務職が所属し、医療事務、総務・人事、施設管理、患者サービスの向上及び、職員の働きやすい環境作りを担当した。

F 主な委員会の担当事項

① 医療安全委員会及び感染対策委員会

医療安全委員会は、センター内における事故を防止し、安全かつ適切に業務遂行できる体制を確立した。センター内で起こる「インシデント（ヒヤリハッ

ト)」報告に対して検討し、事故を未然に防ぐべく対策を提案した。また、クリニック内トイレで利用者が急変したことを想定し、急変時対応の勉強会を実施した。感染対策委員会は、センター内における細菌、微生物、ウイルス等の感染防止対策を推進し、院内衛生管理の万全を期した。感染予防に対する意識を高めるため、手洗い評価、嘔吐物の処理方法の実技形式の研修を実施した。

②個人情報保護委員会及び診療情報開示検討委員会

個人情報保護委員会は、患者等の個人情報の取り扱い・保護・管理・委託・苦情・相談等を審議した。診療情報開示検討委員会は、診療情報の提供・開示の具体的方策及び、実施要綱などの運営上の問題点等を協議するとともに、センター長からの諮問により開示申請者の適否・開示情報の範囲、開示の可否について審査する体制を整えている。

② サービス向上委員会

患者のアメニティーの向上・苦情対応は、サービス向上委員会が担当した。苦情対応として、ご意見箱を設置し、患者等の苦情に対応する体制を整え、患者満足度調査等も実施した。接遇向上を目指して、接遇に優れるスタッフを投票で選び表彰した。運営の透明性を確保するため、センター内の情報を公開して、事業内容を刊行物にて提供した。

(2) 情報システムの構築

リハビリセンタークリニックで行う診療はチームで行い、電子カルテシステムを導入し、患者の状況・治療の目標等の患者情報を共有している。この電子カルテにより、患者情報が一元化され、チームスタッフが患者とその家族との面談の際に必要な情報提供にも寄与した。

(3) 職員の資質向上

効果的なリハビリテーションの提供には、患者本人から機能回復の意欲を引き出し高いモチベーション（動機付け）をもって主体的にリハビリテーションを行うことができる環境づくりが重要である。その中で、職員の対応は最も重要となる。

このことから、職員には当院が提供するリハビリテーションの理解を深めるため、病院の概要、診療システム、各部門の業務体制だけでなく、当法人の基本理念、診療方針、患者の基本的な権利等を理解し行動できるよう研修を行った。また、専門性を高めるため、外部で行われる研修会にも参加を促した。

各スタッフの接遇に対する意識を共有するため、各自が接遇について気を付けていることについて共有を図った。また、接遇に優れるスタッフを表彰する機会を設け、接遇意識の向上を図った。

(資料2 センター内外の研修・学会)

2 サービス機能

(1) 職員配置

| 区分 | 令和6年度 |
|--------------------|--------|
| センター長兼院長兼医師 | 1 |
| 副センター長 | 1 |
| 所長（看護師） | 1 |
| マネジャー（理学療法士・作業療法士） | 2 |
| 看護師 | 5（3） |
| 医師 | 1（1） |
| ケアワーカー | 3（1） |
| 理学療法士 | 12 |
| 作業療法士 | 6 |
| 言語聴覚士 | 2 |
| ソーシャルワーカー | 1（1） |
| 健康運動指導士 | 2（1） |
| サポート部（事務） | 6（1） |
| 運転手 | 9（9） |
| 総計 | 52（17） |

() 内非常勤職員数

(2) 提供したサービス

ア) 外来リハビリテーション

通院による外来リハビリテーションを提供した。混雑した場合には個別リハビリテーションが十分に提供できなくなることからサービスの提供は予約制とした。また、リハビリテーション科の医師の診察等には一定以上の時間を要することから初回受付も予約制とした。

イ) 通所リハビリテーション

利用者が可能な限り居宅においてその能力に応じ、生活機能の維持・向上を積極的に図り、要支援・要介護状態の予防及びその重症化の予防、軽減ができるよう介護（予防）通所リハビリテーションサービスを提供した。対象は要支援1・2もしくは、要介護1から5の方とし、個別リハ（理学療法・作業療法・言語聴覚療法）の実施に加えて自主トレーニングを行う時間を設け、1回およそ70分で行った。

ウ) 訪問リハビリテーション

利用者の心身の特性を踏まえて、全体的な日常生活活動の維持、回復を図るとともに、生活の質の確保を重視した在宅療養が継続できるように訪問リハビリテーションを通じた支援を行った。サービス提供に当たっては、ケアマネジャーを始め、関係自治体、地域の保健・医療・福祉サービスとの密接な連携を図った。

エ) 訪問看護ステーション

利用者の心身の特性を踏まえて、個々に応じたケアを実施することで心身の活力を維持し、より安全な在宅療養生活を送れるよう支援した。また、サービスの特性から地域におけるニーズとして、24時間・緊急時への対応が求められていることから、利用者が24時間安心して生活を送れるように24時間の緊急時の対応を行った。サービスの提供に当たっては、ケアマネジャーを始め、関係自治体、地域の保健・医療・福祉サービスとの密接な連携を図った。

オ) 地域リハビリテーション拠点事業

市民及び市内のリハビリテーション関係者へのリハビリテーションの重要性及び必要性の周知、市内のリハビリテーション関係者の育成、医療及び介護の連携強化等の目的から、リハビリ関係者向け講演会として研究大会、リハビリ関係者向け研修会として介護職員向け勉強会・地区勉強会・摂食栄養サポート勉強会を計画し、実行した。市民向けには、ふなばし健康まつりにブース出展し、体組成を測定し、健康づくりについてアドバイスした。体操を多く取り入れた「転倒予防体操」講座をリハビリセンターで開催した。まちづくり出前講座へも積極的に出向いた。刊行物やリーフレットも配布し、リハビリテーションの普及・啓発を図った。

また、リハビリテーションに関する実態を把握するため、回復期リハビリテーション病棟実態調査と高齢者数・要介護認定率と介護サービス推移の調査研究を行った。

(資料3 地域リハビリテーション拠点事業活動実績)

カ) リハビリ事業

利用者の体調チェック・体温測定・館内でのマスク着用と手指消毒の徹底を継続した。

① パワーリハビリ教室

市内の身体機能の低下した高齢者等に対し、要介護状態等の予防や軽減、また、自立した生活をできるだけ実現すること等を主な目的として実施した。

② パワーリハビリフォローアップ

パワーリハビリ教室終了後の健康維持・体力作り、仲間との交流などを主な目的として実施した。

③ プールリハビリ

水がもつ特性を活かし、下半身への負担を軽減しながら高齢者の体力及び筋力の維持を目的として実施した。

3 地域連携・ネットワーキング

(1) 回復期病棟を持つ病院との連携

回復期病棟を持つ近隣の医療機関と連絡を取り合い、必要な市民が円滑にリハビリ

テーションサービスを受けられるよう情報交換を行った。

(2) 医師会との連携

クリニックやリハビリ事業を利用する患者・利用者を通じてかかりつけ医との連携を図った。リハビリセンター発行物を発行し、医師会郵送物に同封してもらい、会員にリハビリテーション及びリハビリセンターの周知を図った。

(3) 地域の診療所や介護サービス事業者との連携

- ① 近隣医療機関と連絡を取り、情報交換を行った。
- ② 「船橋在宅医療ひまわりネットワーク 地域リハ推進委員会」と連携し、地域リハビリテーション拠点事業の実施に反映させた。
- ③ 「船橋在宅医療ひまわりネットワーク役員会」に出席し、関係団体として協力した。
- ④ 「船橋市在宅医療支援拠点ふなぽーと」事務局に出向き、運営について情報交換を行った。
- ⑤ 「船橋市在宅医療支援拠点ふなぽーと」運営連絡調整会議に出席し、運営に協力した。
- ⑥ 船橋市ソーシャルワーカー連絡協議会と連絡を取り合い、会員である市内外のS Wと情報交換を行った。
- ⑦ 「船橋市通所リハビリテーション連絡会」と連携を図り、会の運営に協力した。
- ⑧ 「船橋市訪問リハビリテーション連絡会」と連携を図り、会の運営に協力した。
- ⑨ 「ふなばし市訪問看護連絡協議会」と連携を図り、会の運営に協力した。

リハビリテーション総合相談件数

| | センター事業に関する相談 | | | センター以外に関する相談※ | その他 |
|---------|---------------|--------------|------------|---------------|-----|
| | クリニック事業に関する相談 | リハビリ事業に関する相談 | 訪問看護に関する相談 | | |
| 令和6年4月 | 38 | 1 | 0 | 3 | 0 |
| 令和6年5月 | 40 | 1 | 0 | 2 | 0 |
| 令和6年6月 | 28 | 1 | 0 | 7 | 0 |
| 令和6年7月 | 39 | 1 | 0 | 5 | 0 |
| 令和6年8月 | 41 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 令和6年9月 | 42 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 令和6年10月 | 38 | 0 | 0 | 6 | 0 |
| 令和6年11月 | 33 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| 令和6年12月 | 32 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 令和7年1月 | 28 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| 令和7年2月 | 22 | 2 | 0 | 1 | 0 |
| 令和7年3月 | 38 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| 計 | 419 | 8 | 0 | 30 | 0 |

※センター以外に関する相談の内容

- ・ 県外在住、今後船橋市へ転居予定。現在は週4回で通所リハを利用しており、転居後のリハビリできる施設を探している。
- 当センターでは短時間リハであることを共有。引っ越し先近くの半日型デイサービスの情報を提案すると現在利用している施設に近いとのこと。転居後、ケアマネジャーへ相談してみることを提案した。
- ・ 地域包括支援センターより紹介されたという本人からの相談。体力低下あり、リハビリ希望あり。日常生活は自立しており、介護保険未申請。
- 当センターリハビリ事業を紹介。見学を促した。
- ・ 送迎が利用できる外来リハビリを探している。
- 一般的に、外来だと送迎を利用することが難しく、介護保険による通所リハが適用ではないかと思われるとお伝えした。八千代市在住だったため、地域リハビリテーション広域支援センターである新八千代病院へ相談するよう伝えた。
- ・ 脳梗塞後、介護保険で訪問サービス(親族のため詳細不明)で歩行訓練をしているが、本人、家族ともに歩行訓練を強化したいと考えている。できれば送迎ありで外出先での歩行をしたい。
- 当院は送迎範囲外のところにお住まい。介護保険で訪問リハビリを利用しているのであれば、ケアマネジャーへ本人家族の希望を伝えていただき、リハビリの方法を相談していただくようお伝え。
- ・ 通所リハビリの利用先を検討中。初台リハビリテーション病院の系列なので見ておきたい、プールの利用も検討していると来院される。
- パンフレットをお渡し。通所リハは家族送迎か自力来院が必要なこと、市川市在住のためプールは対象外となることを説明。
- ・ 脳梗塞で退院後のリハビリ先を探していると家族よりTEL。
- 今後の方針が定まっていなかった。今後、地域包括支援センターも同席予定の医師による病状説明があるとのことで、退院後のリハビリについて主治医に相談していただくよう伝えた。
- ・ 要支援の認定で、入所しながらリハビリができるところがないか。
- お電話で聴取した経過やADLから、地域包括ケア病棟が良いと考え、自宅からアクセスがよい地域包括ケア病棟のある病院を郵送にて情報提供した。
- ・ 自宅で転倒し、大腿骨骨折。急性期病院に入院しており、介護保険申請中。骨折後のリハビリで当センターは利用可能か。
- 介護認定が出れば通所リハまたは訪問リハの利用が可能とお伝えした。
- ・ 脳梗塞を発症し、急性期病院に入院している。麻痺がある。入院してのリハを希望。
- 急性期病院のSWに相談することができることを説明した。どういう病院があるのか問われたため、自宅近くの回復期リハ病棟がある病院を案内した(2件)。
- ・ ダウン症の子を持つ母からの相談。言語、嚥下リハ目的でSTしたい。
- 当センターからは遠方であり、未就学児でもあることから、小児対応の訪問看護ステーション、障害児通所サービス、マザーズホームの情報を提供した。

II 利用状況

船橋市リハビリセンターにおける令和6年度の利用実績は以下の通りである。
 なお、表示単位未満を端数処理しているため、合計と一致しない場合がある。

1 外来患者（一般診療・リハビリテーション）

(1) 外来リハビリテーション患者数 (単位：人)

| | 実患者数 | 延べ患者数 |
|---|------|-------|
| 計 | 80 | 2,397 |

(2) 月別外来患者（延べ人数）内訳

| | |
|------|-----|
| 診療日数 | 256 |
|------|-----|

① 外来リハビリテーション実績 (単位：人)

| 区分 | 新規（初診） | 再診 | 計 |
|---------|--------|-------|-------|
| 令和6年4月 | 4 | 202 | 206 |
| 令和6年5月 | 0 | 187 | 187 |
| 令和6年6月 | 3 | 152 | 155 |
| 令和6年7月 | 3 | 181 | 184 |
| 令和6年8月 | 4 | 167 | 171 |
| 令和6年9月 | 5 | 176 | 181 |
| 令和6年10月 | 8 | 266 | 274 |
| 令和6年11月 | 0 | 247 | 247 |
| 令和6年12月 | 9 | 213 | 222 |
| 令和7年1月 | 1 | 202 | 203 |
| 令和7年2月 | 2 | 181 | 183 |
| 令和7年3月 | 4 | 180 | 184 |
| 合計 | 43 | 2,354 | 2,397 |
| 1日平均患者 | 0.2 | 9.2 | 9.4 |

② 一般診療実績（通所リハビリテーション利用者への診察） (単位：人)

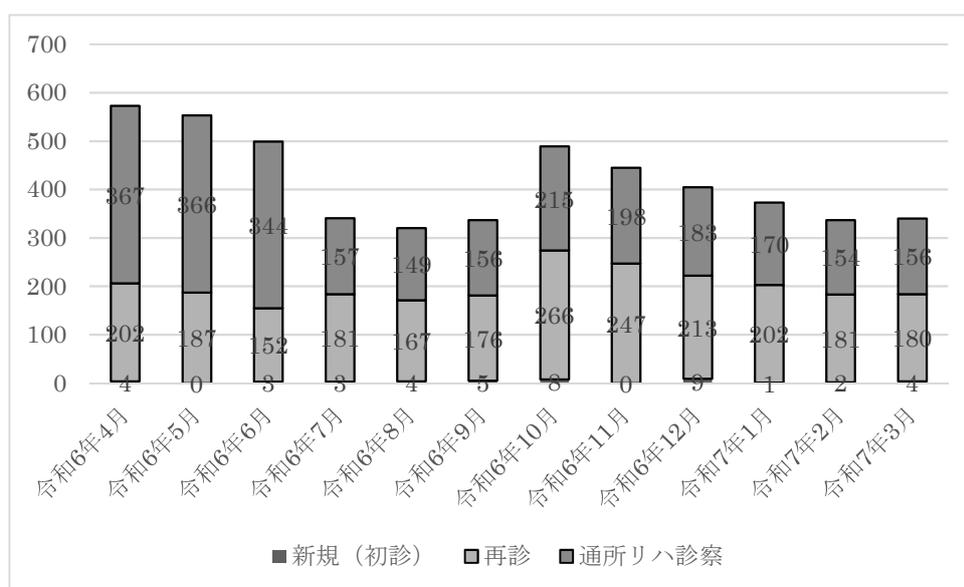
| 区分 | 通所リハ診察 |
|---------|--------|
| 令和6年4月 | 367 |
| 令和6年5月 | 366 |
| 令和6年6月 | 344 |
| 令和6年7月 | 157 |
| 令和6年8月 | 149 |
| 令和6年9月 | 156 |
| 令和6年10月 | 215 |
| 令和6年11月 | 198 |
| 令和6年12月 | 183 |

| | |
|--------|-------|
| 令和7年1月 | 170 |
| 令和7年2月 | 154 |
| 令和7年3月 | 156 |
| 合計 | 2,615 |
| 1日平均患者 | 10.2 |

③外来診療実績（①＋②）

（単位：人）

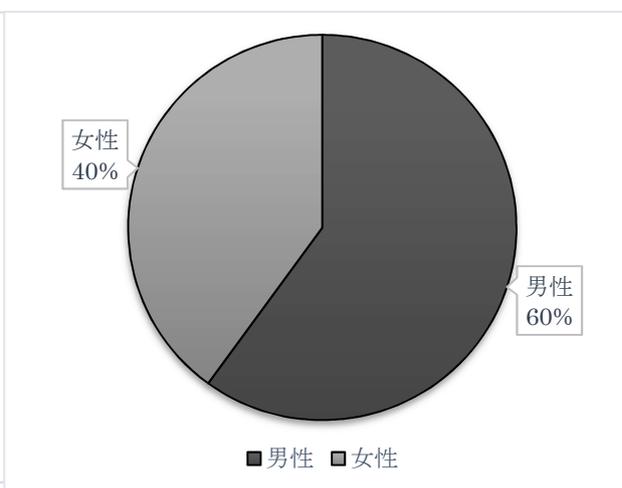
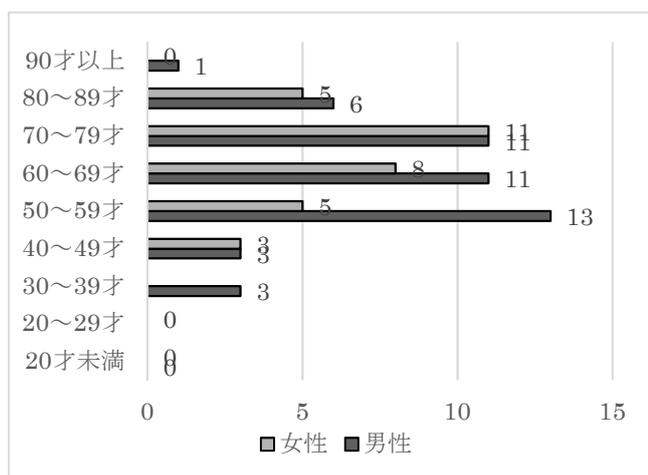
| 区分 | 新規（初診） | 再診 | 通所リハ診察 | 計 |
|---------|--------|-------|--------|-------|
| 令和6年4月 | 4 | 202 | 367 | 573 |
| 令和6年5月 | 0 | 187 | 366 | 553 |
| 令和6年6月 | 3 | 152 | 344 | 499 |
| 令和6年7月 | 3 | 181 | 157 | 341 |
| 令和6年8月 | 4 | 167 | 149 | 320 |
| 令和6年9月 | 5 | 176 | 156 | 337 |
| 令和6年10月 | 8 | 266 | 215 | 489 |
| 令和6年11月 | 0 | 247 | 198 | 445 |
| 令和6年12月 | 9 | 213 | 183 | 405 |
| 令和7年1月 | 1 | 202 | 170 | 373 |
| 令和7年2月 | 2 | 181 | 154 | 337 |
| 令和7年3月 | 4 | 180 | 156 | 340 |
| 合計 | 43 | 2,354 | 2,615 | 5,012 |
| 1日平均患者 | 0.2 | 9.2 | 10.2 | 19.6 |



(3) 外来リハビリテーション年齢別・男女別外来患者内訳

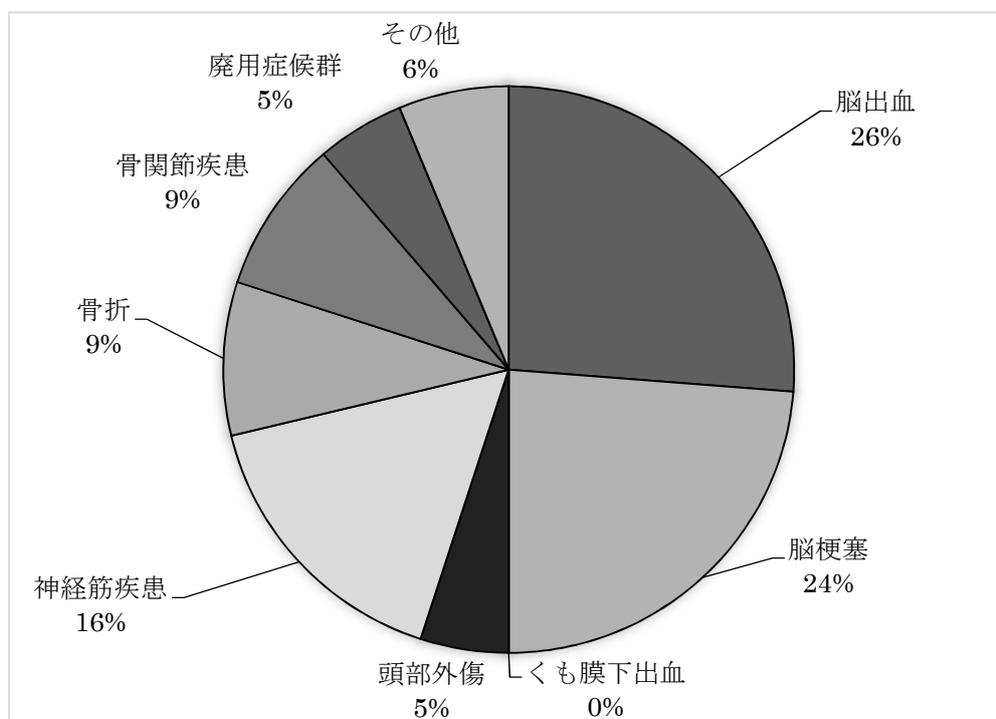
(単位：人)

| 年齢 | 男性 | 女性 | 合計 | 構成割合 |
|--------|------|------|-----------|--------|
| 20才未満 | 0 | 0 | 0 | 0.00% |
| 20～29才 | 0 | 0 | 0 | 0.00% |
| 30～39才 | 3 | 0 | 3 | 3.75% |
| 40～49才 | 3 | 3 | 6 | 7.50% |
| 50～59才 | 13 | 5 | 18 | 22.50% |
| 60～69才 | 11 | 8 | 19 | 23.75% |
| 70～79才 | 11 | 11 | 22 | 27.50% |
| 80～89才 | 6 | 5 | 11 | 13.75% |
| 90才以上 | 1 | 0 | 1 | 1.25% |
| 合計 | 48 | 32 | 80 | 100% |
| 平均年齢 | 63.3 | 67.3 | 64.8 | |



(4) 外来リハビリテーション疾患別外来患者内訳

| 疾患名 | 患者数 | 構成割合% |
|--------|-----------|--------|
| 脳出血 | 21 | 26.3% |
| 脳梗塞 | 19 | 23.8% |
| くも膜下出血 | 0 | 0.0% |
| 頭部外傷 | 4 | 5.0% |
| 神経筋疾患 | 13 | 16.3% |
| 骨折 | 7 | 8.8% |
| 骨関節疾患 | 7 | 8.8% |
| 廃用症候群 | 4 | 5.0% |
| その他 | 5 | 6.3% |
| 合計 | 80 | 100.0% |



(5) 外来リハビリテーション地域別外来患者内訳

| 地域 | 患者数 | 構成割合% |
|--------------|-----|--------|
| 船橋市習志野台 | 14 | 17.50% |
| 船橋市飯山満町 | 11 | 13.75% |
| 船橋市二宮 | 6 | 7.50% |
| 船橋市田喜野井 | 5 | 6.25% |
| 船橋市前原西 | 4 | 5.00% |
| 船橋市前原東 | 4 | 5.00% |
| 船橋市高根台 | 3 | 3.75% |
| 千葉市花見川区幕張本郷 | 2 | 2.50% |
| 船橋市金杉 | 2 | 2.50% |
| 船橋市三山 | 2 | 2.50% |
| 船橋市中野木 | 2 | 2.50% |
| 船橋市薬円台 | 2 | 2.50% |
| 習志野市実籾本郷 | 1 | 1.25% |
| 習志野市東習志野 | 1 | 1.25% |
| 習志野市本大久保 | 1 | 1.25% |
| 千葉市稲毛区萩台町 | 1 | 1.25% |
| 千葉市花見川区さつきが丘 | 1 | 1.25% |
| 千葉市花見川区作新台 | 1 | 1.25% |
| 船橋市旭町 | 1 | 1.25% |
| 船橋市夏見 | 1 | 1.25% |
| 船橋市宮本 | 1 | 1.25% |
| 船橋市高野台 | 1 | 1.25% |
| 船橋市七林町 | 1 | 1.25% |
| 船橋市芝山 | 1 | 1.25% |
| 船橋市習志野 | 1 | 1.25% |
| 船橋市上山町 | 1 | 1.25% |
| 船橋市新高根 | 1 | 1.25% |
| 船橋市西習志野 | 1 | 1.25% |
| 船橋市大穴南 | 1 | 1.25% |
| 船橋市滝台町 | 1 | 1.25% |
| 船橋市南三咲 | 1 | 1.25% |
| 船橋市楠が山町 | 1 | 1.25% |
| 船橋市八木が谷 | 1 | 1.25% |
| その他県内 | 2 | 2.50% |
| 合計 | 80 | 100.0% |

2 通所リハビリテーション利用者数

(1) 通所リハビリテーション利用者数 (単位：人)

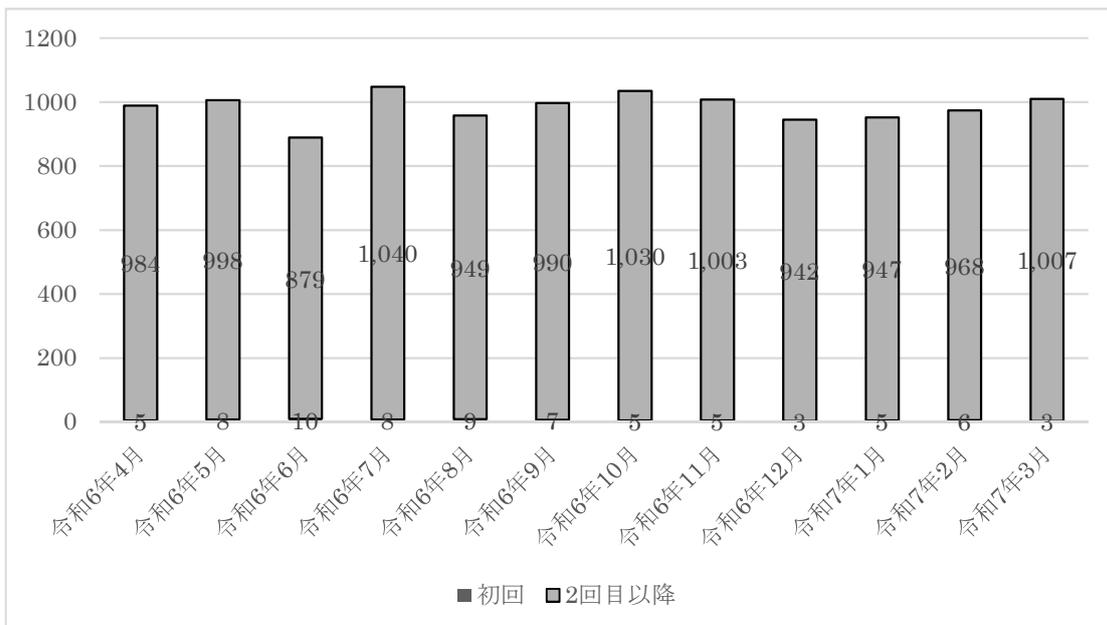
| | | |
|---|------|--------|
| | 実患者数 | 延べ患者数 |
| 計 | 287 | 11,811 |

(2) 月別通所リハビリテーション実績（延べ人数）内訳

| | |
|------|-----|
| 診療日数 | 256 |
|------|-----|

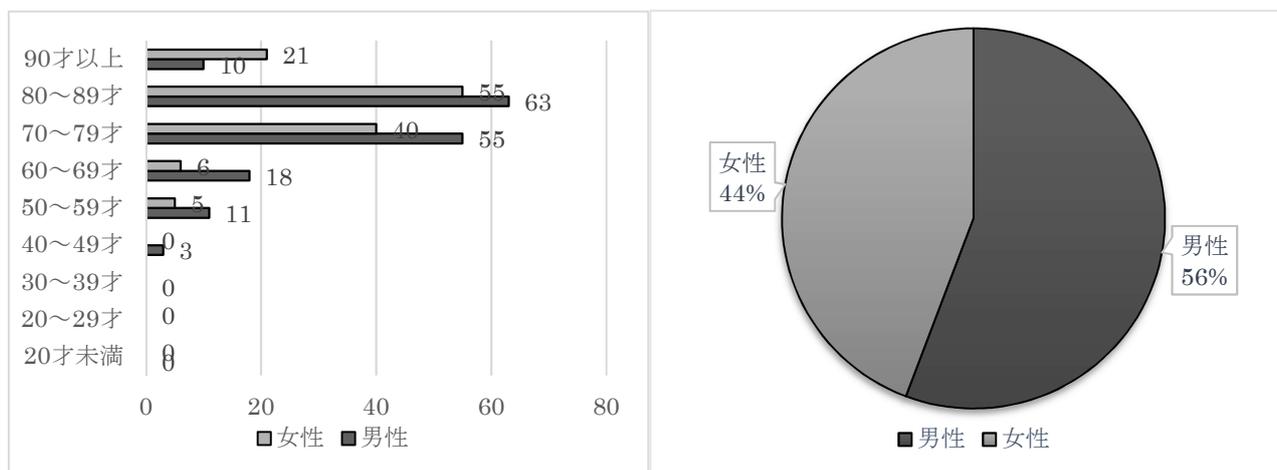
(単位：人)

| 区分 | 初回 | 2回目以降 | 計 |
|---------|-----|--------|--------|
| 令和6年4月 | 5 | 984 | 989 |
| 令和6年5月 | 8 | 998 | 1,006 |
| 令和6年6月 | 10 | 879 | 889 |
| 令和6年7月 | 8 | 1,040 | 1,048 |
| 令和6年8月 | 9 | 949 | 958 |
| 令和6年9月 | 7 | 990 | 997 |
| 令和6年10月 | 5 | 1,030 | 1,035 |
| 令和6年11月 | 5 | 1,003 | 1,008 |
| 令和6年12月 | 3 | 942 | 945 |
| 令和7年1月 | 5 | 947 | 952 |
| 令和7年2月 | 6 | 968 | 974 |
| 令和7年3月 | 3 | 1,007 | 1,010 |
| 合計 | 74 | 11,737 | 11,811 |
| 1日平均患者 | 0.3 | 45.8 | 46.1 |



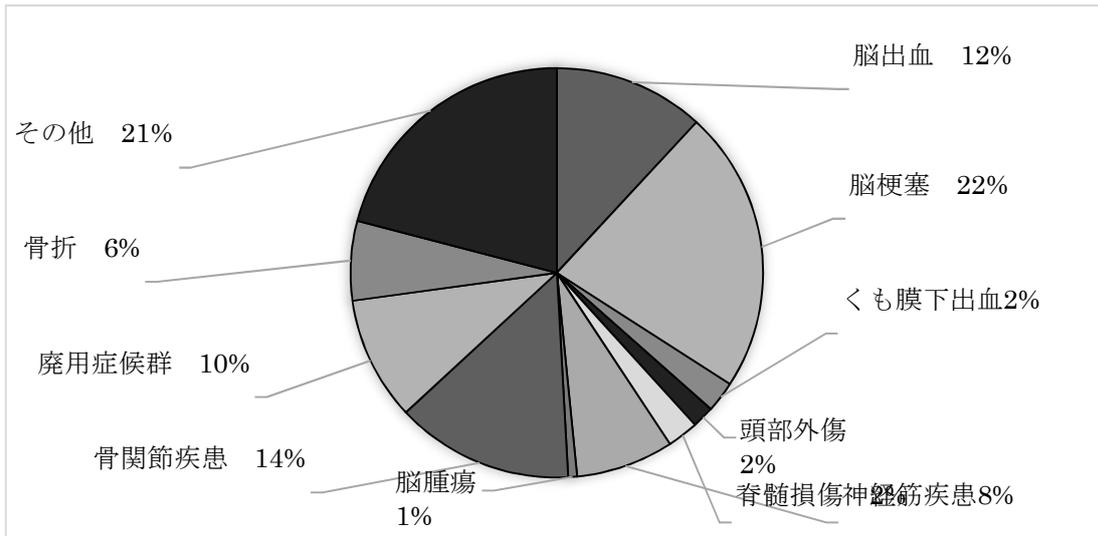
(3) 年齢別・男女別通所リハビリテーション利用者内訳 (単位：人)

| 年齢 | 男性 | 女性 | 合計 | 構成割合 |
|--------|------|------|------------|--------|
| 20才未満 | 0 | 0 | 0 | 0.0% |
| 20～29才 | 0 | 0 | 0 | 0.0% |
| 30～39才 | 0 | 0 | 0 | 0.0% |
| 40～49才 | 3 | 0 | 3 | 1.0% |
| 50～59才 | 11 | 5 | 16 | 5.6% |
| 60～69才 | 18 | 6 | 24 | 8.4% |
| 70～79才 | 55 | 40 | 95 | 33.1% |
| 80～89才 | 63 | 55 | 118 | 41.1% |
| 90才以上 | 10 | 21 | 31 | 10.8% |
| 合計 | 160 | 127 | 287 | 100.0% |
| 平均年齢 | 77.6 | 80.8 | 79.7 | |



(4) 疾患別通所リハビリテーション利用者内訳

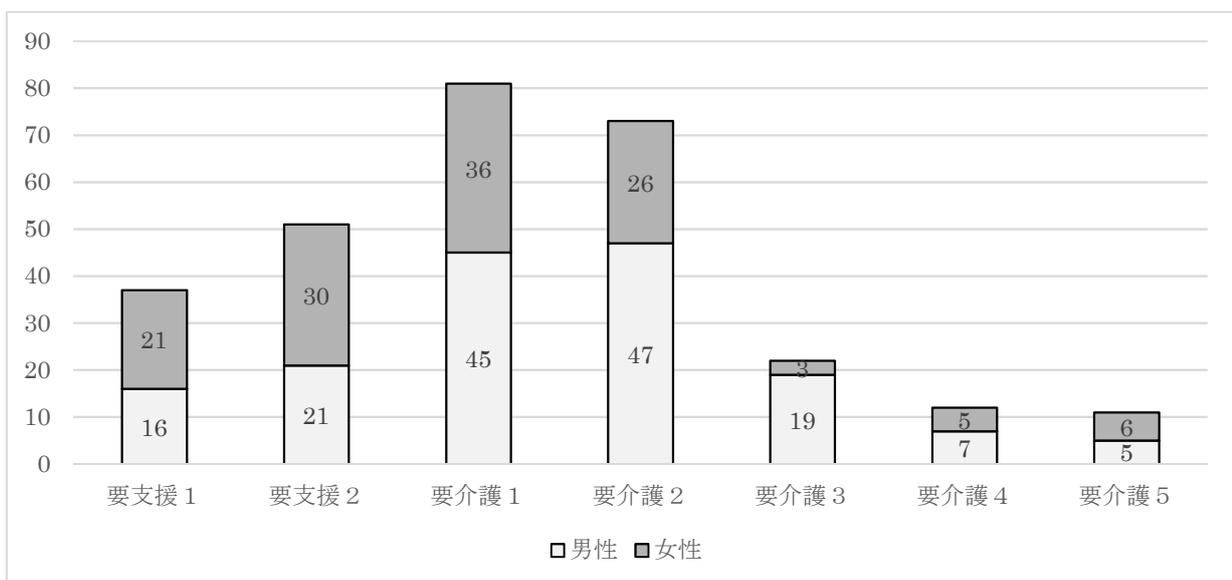
| 疾患名 | 患者数 | 構成割合 |
|--------|------------|--------|
| 脳出血 | 34 | 11.8% |
| 脳梗塞 | 64 | 22.3% |
| くも膜下出血 | 7 | 2.4% |
| 頭部外傷 | 5 | 1.7% |
| 脊髄損傷 | 7 | 2.4% |
| 神経筋疾患 | 22 | 7.7% |
| 脳腫瘍 | 2 | 0.7% |
| 骨関節疾患 | 40 | 13.9% |
| 廃用症候群 | 28 | 9.8% |
| 骨折 | 18 | 6.3% |
| その他 | 60 | 20.9% |
| 合計 | 287 | 100.0% |



(5) 介護度別分類

(単位：人)

| | 男性 | 女性 | 合計 | 構成割合 |
|-------|-----|-----|-----|--------|
| 要支援 1 | 16 | 21 | 37 | 12.9% |
| 要支援 2 | 21 | 30 | 51 | 17.8% |
| 要介護 1 | 45 | 36 | 81 | 28.2% |
| 要介護 2 | 47 | 26 | 73 | 25.4% |
| 要介護 3 | 19 | 3 | 22 | 7.7% |
| 要介護 4 | 7 | 5 | 12 | 4.2% |
| 要介護 5 | 5 | 6 | 11 | 3.8% |
| 合計 | 160 | 127 | 287 | 100.0% |



(6) 地域別通所リハビリテーション利用者内訳

| 地域 | 患者数 | 構成割合 |
|-----------------|------------|--------|
| 船橋市飯山満町 | 66 | 23.00% |
| 船橋市前原西 | 48 | 16.72% |
| 船橋市前原東 | 39 | 13.59% |
| 船橋市芝山 | 25 | 8.71% |
| 船橋市二宮 | 25 | 8.71% |
| 船橋市薬円台 | 13 | 4.53% |
| 船橋市習志野台 | 9 | 3.14% |
| 船橋市田喜野井 | 9 | 3.14% |
| 船橋市駿河台 | 8 | 2.79% |
| 船橋市中野木 | 7 | 2.44% |
| 船橋市三山 | 5 | 1.74% |
| 船橋市高根台 | 3 | 1.05% |
| 船橋市七林町 | 3 | 1.05% |
| 船橋市松が丘 | 3 | 1.05% |
| 船橋市滝台 | 3 | 1.05% |
| 船橋市金杉 | 2 | 0.70% |
| 船橋市西習志野 | 2 | 0.70% |
| 船橋市坪井東 | 2 | 0.70% |
| 鎌ヶ谷市西佐津間 | 1 | 0.35% |
| 習志野市鷺沼台 | 1 | 0.35% |
| 船橋市夏見 | 1 | 0.35% |
| 船橋市海神 | 1 | 0.35% |
| 船橋市丸山 | 1 | 0.35% |
| 船橋市宮本 | 1 | 0.35% |
| 船橋市習志野 | 1 | 0.35% |
| 船橋市新高根 | 1 | 0.35% |
| 船橋市前原西アル ビス6 | 1 | 0.35% |
| 船橋市滝台町 | 1 | 0.35% |
| 船橋市坪井町 | 1 | 0.35% |
| 船橋市二和西 | 1 | 0.35% |
| 船橋市二和東 | 1 | 0.35% |
| 船橋市浜町 | 1 | 0.35% |
| その他県内 | 1 | 0.35% |
| 合計 | 287 | 100.0% |

3 訪問リハビリテーション利用者

(1) 訪問リハビリテーション利用者数

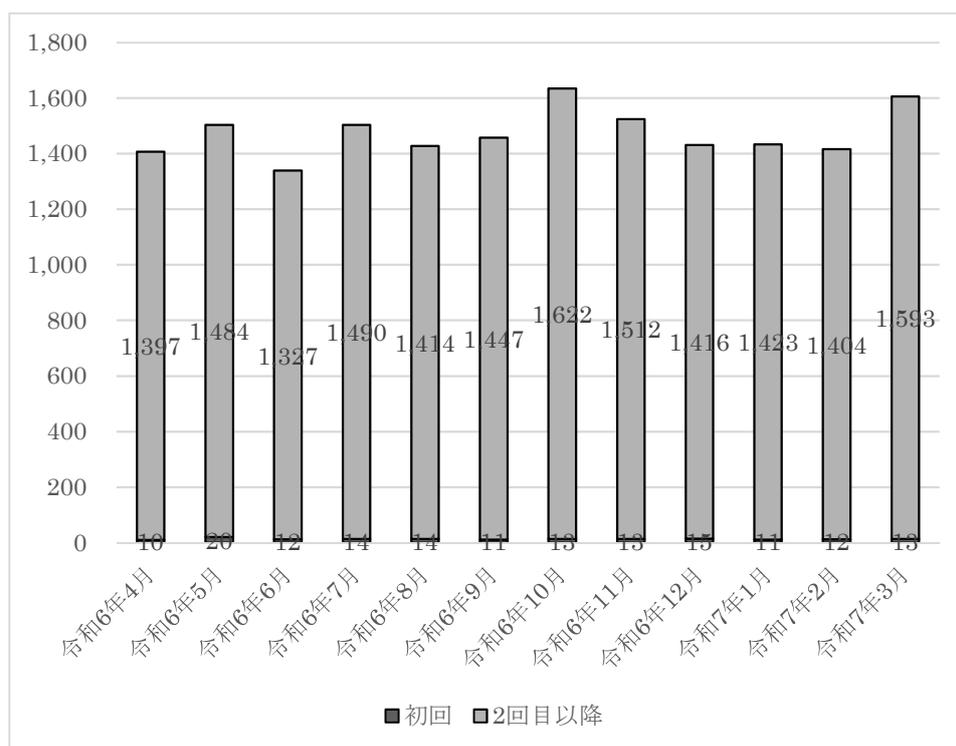
(単位：人)

| | 実患者数 | 延べ患者数 |
|---|------|--------|
| 計 | 379 | 17,687 |

(2) 月別訪問リハビリテーション実績（延べ人数）内訳

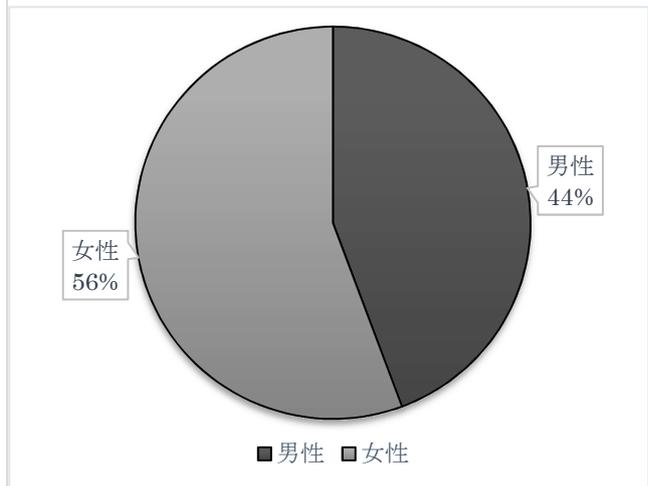
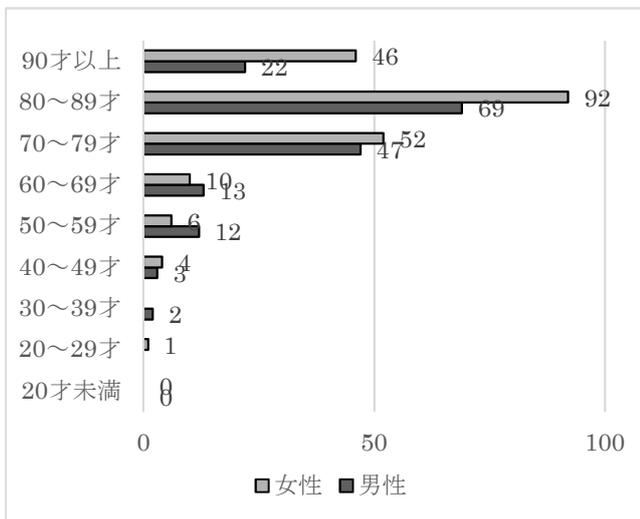
| | |
|------|-----|
| 診療日数 | 256 |
|------|-----|

| 区分 | 初回 | 2回目以降 | 計 |
|---------|-----|--------|--------|
| 令和6年4月 | 10 | 1,397 | 1,407 |
| 令和6年5月 | 20 | 1,484 | 1,504 |
| 令和6年6月 | 12 | 1,327 | 1,339 |
| 令和6年7月 | 14 | 1,490 | 1,504 |
| 令和6年8月 | 14 | 1,414 | 1,428 |
| 令和6年9月 | 11 | 1,447 | 1,458 |
| 令和6年10月 | 13 | 1,622 | 1,635 |
| 令和6年11月 | 13 | 1,512 | 1,525 |
| 令和6年12月 | 15 | 1,416 | 1,431 |
| 令和7年1月 | 11 | 1,423 | 1,434 |
| 令和7年2月 | 12 | 1,404 | 1,416 |
| 令和7年3月 | 13 | 1,593 | 1,606 |
| 合計 | 158 | 17,529 | 17,687 |
| 1日平均患者 | 0.6 | 68.5 | 69.1 |



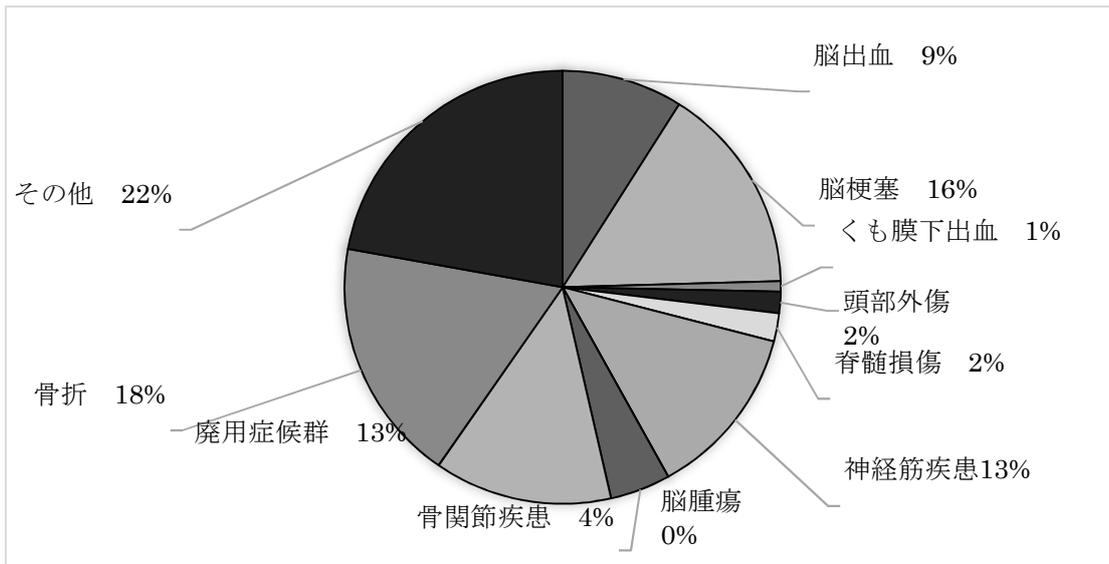
(3) 年齢別・男女別訪問リハビリテーション利用者内訳 (単位：人)

| 年齢 | 男性 | 女性 | 合計 | 構成割合 |
|--------|------|------|------------|--------|
| 20才未満 | 0 | 0 | 0 | 0.0% |
| 20～29才 | 0 | 1 | 1 | 0.3% |
| 30～39才 | 2 | 0 | 2 | 0.5% |
| 40～49才 | 3 | 4 | 7 | 1.8% |
| 50～59才 | 12 | 6 | 18 | 4.7% |
| 60～69才 | 13 | 10 | 23 | 6.1% |
| 70～79才 | 47 | 52 | 99 | 26.1% |
| 80～89才 | 69 | 92 | 161 | 42.5% |
| 90才以上 | 22 | 46 | 68 | 17.9% |
| 合計 | 168 | 211 | 379 | 100.0% |
| 平均年齢 | 79.9 | 82.7 | 81.3 | |



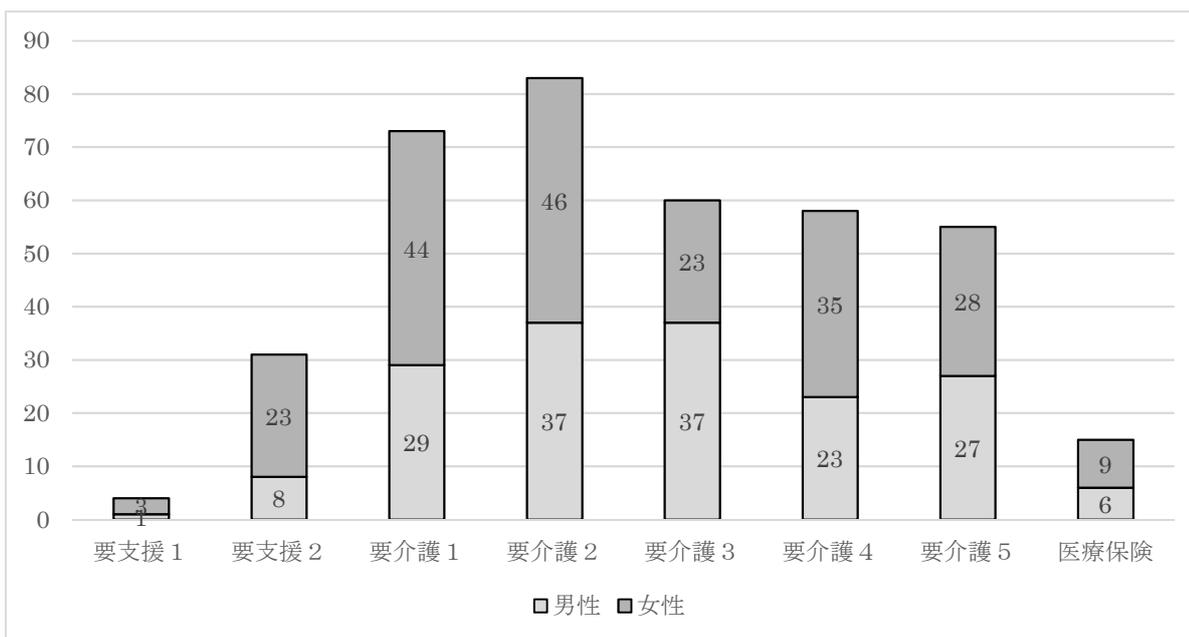
(4) 疾患別訪問リハビリテーション利用者内訳

| 疾患名 | 患者数 | 構成割合 |
|--------|------------|--------|
| 脳出血 | 34 | 9.0% |
| 脳梗塞 | 59 | 15.6% |
| くも膜下出血 | 3 | 0.8% |
| 頭部外傷 | 6 | 1.6% |
| 脊髄損傷 | 8 | 2.1% |
| 神経筋疾患 | 49 | 12.9% |
| 脳腫瘍 | 0 | 0.0% |
| 骨関節疾患 | 17 | 4.5% |
| 廃用症候群 | 50 | 13.2% |
| 骨折 | 69 | 18.2% |
| その他 | 84 | 22.2% |
| 合計 | 379 | 100.0% |



(5) 介護度別分類

| | 男性 | 女性 | 合計 | 構成割合 |
|-------|-----|-----|-----|--------|
| 要支援 1 | 1 | 3 | 4 | 1.1% |
| 要支援 2 | 8 | 23 | 31 | 8.2% |
| 要介護 1 | 29 | 44 | 73 | 19.3% |
| 要介護 2 | 37 | 46 | 83 | 21.9% |
| 要介護 3 | 37 | 23 | 60 | 15.8% |
| 要介護 4 | 23 | 35 | 58 | 15.3% |
| 要介護 5 | 27 | 28 | 55 | 14.5% |
| 医療保険 | 6 | 9 | 15 | 4.0% |
| 合計 | 168 | 211 | 379 | 100.0% |



(6) 地域別訪問リハビリテーション利用者内訳

| 地域 | 患者数 | 構成割合 |
|----------|------------|--------|
| 船橋市飯山満町 | 45 | 11.87% |
| 船橋市前原西 | 43 | 11.35% |
| 船橋市習志野台 | 39 | 10.29% |
| 船橋市芝山 | 38 | 10.03% |
| 船橋市三山 | 27 | 7.12% |
| 船橋市高根台 | 26 | 6.86% |
| 船橋市田喜野井 | 23 | 6.07% |
| 船橋市前原東 | 21 | 5.54% |
| 船橋市西習志野 | 17 | 4.49% |
| 船橋市薬円台 | 16 | 4.22% |
| 船橋市松が丘 | 13 | 3.43% |
| 船橋市新高根 | 12 | 3.17% |
| 船橋市習志野 | 9 | 2.37% |
| 船橋市二宮 | 9 | 2.37% |
| 習志野市藤崎 | 7 | 1.85% |
| 船橋市中野木 | 5 | 1.32% |
| 船橋市緑台 | 5 | 1.32% |
| 船橋市七林町 | 3 | 0.79% |
| 船橋市若松 | 3 | 0.79% |
| 船橋市坪井東 | 3 | 0.79% |
| 習志野市谷津 | 2 | 0.53% |
| 習志野市本大久保 | 2 | 0.53% |
| 船橋市滝台町 | 2 | 0.53% |
| 船橋市坪井西 | 2 | 0.53% |
| 習志野市屋敷 | 1 | 0.26% |
| 習志野市泉町 | 1 | 0.26% |
| 習志野市津田沼 | 1 | 0.26% |
| 船橋市夏見 | 1 | 0.26% |
| 船橋市滝台 | 1 | 0.26% |
| 船橋市坪井町 | 1 | 0.26% |
| 船橋市東船橋 | 1 | 0.26% |
| 合計 | 379 | 100.0% |

4 訪問看護利用者

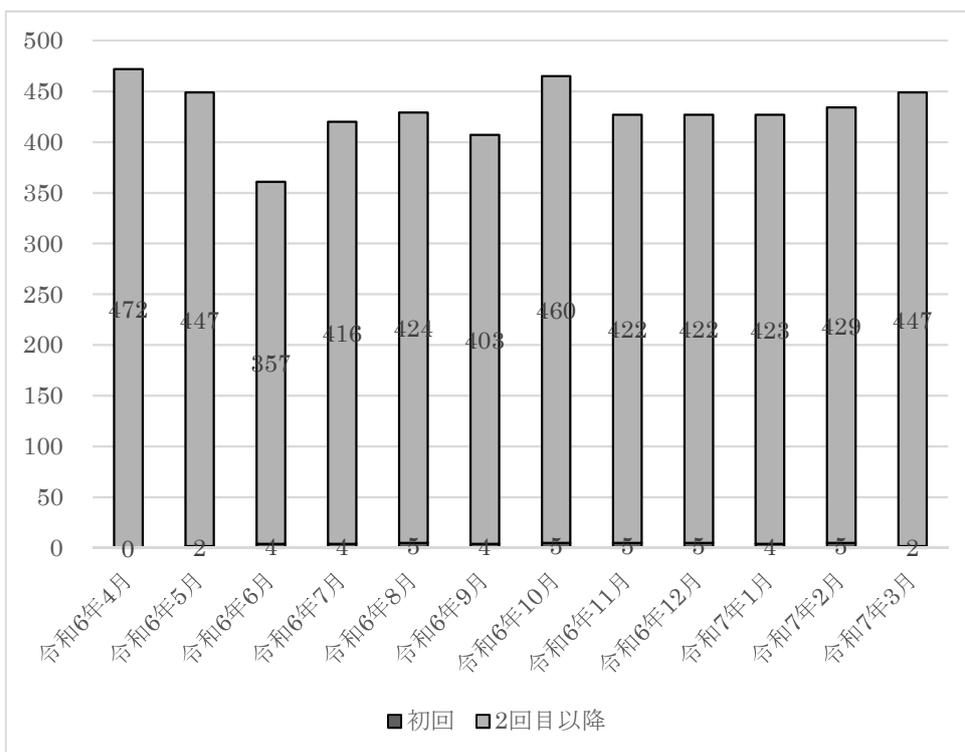
(1) 訪問看護利用者数

| | 実患者数 | 延べ患者数 |
|---|------|-------|
| 計 | 149 | 5,167 |

(2) 月別訪問看護利用者（延べ人数）内訳

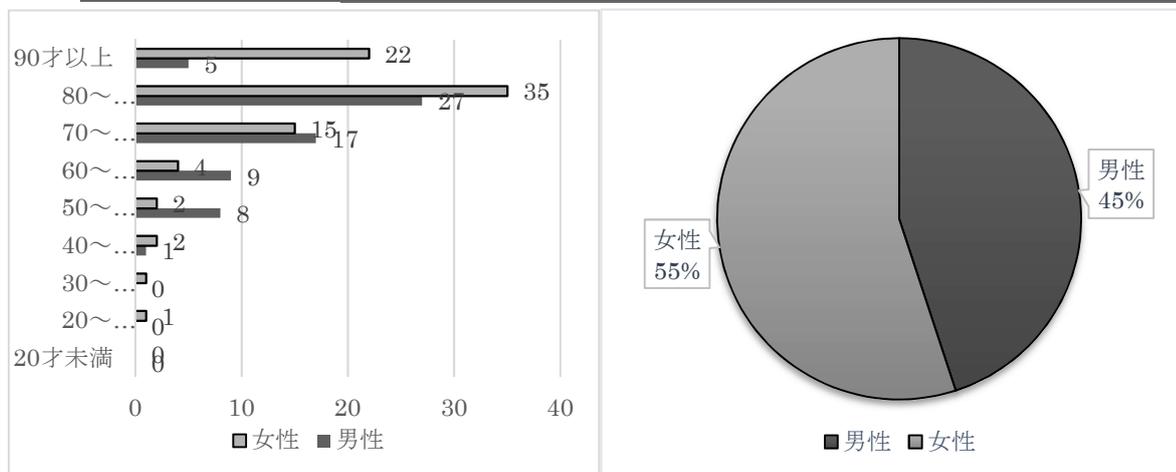
| | |
|------|-----|
| 診療日数 | 256 |
|------|-----|

| 区分 | 初回 | 2回目以降 | 計 |
|---------|-----|-------|-------|
| 令和6年4月 | 0 | 472 | 472 |
| 令和6年5月 | 2 | 447 | 449 |
| 令和6年6月 | 4 | 357 | 361 |
| 令和6年7月 | 4 | 416 | 420 |
| 令和6年8月 | 5 | 424 | 429 |
| 令和6年9月 | 4 | 403 | 407 |
| 令和6年10月 | 5 | 460 | 465 |
| 令和6年11月 | 5 | 422 | 427 |
| 令和6年12月 | 5 | 422 | 427 |
| 令和7年1月 | 4 | 423 | 427 |
| 令和7年2月 | 5 | 429 | 434 |
| 令和7年3月 | 2 | 447 | 449 |
| 合計 | 45 | 5,122 | 5,167 |
| 1日平均患者 | 0.2 | 20.0 | 20.2 |



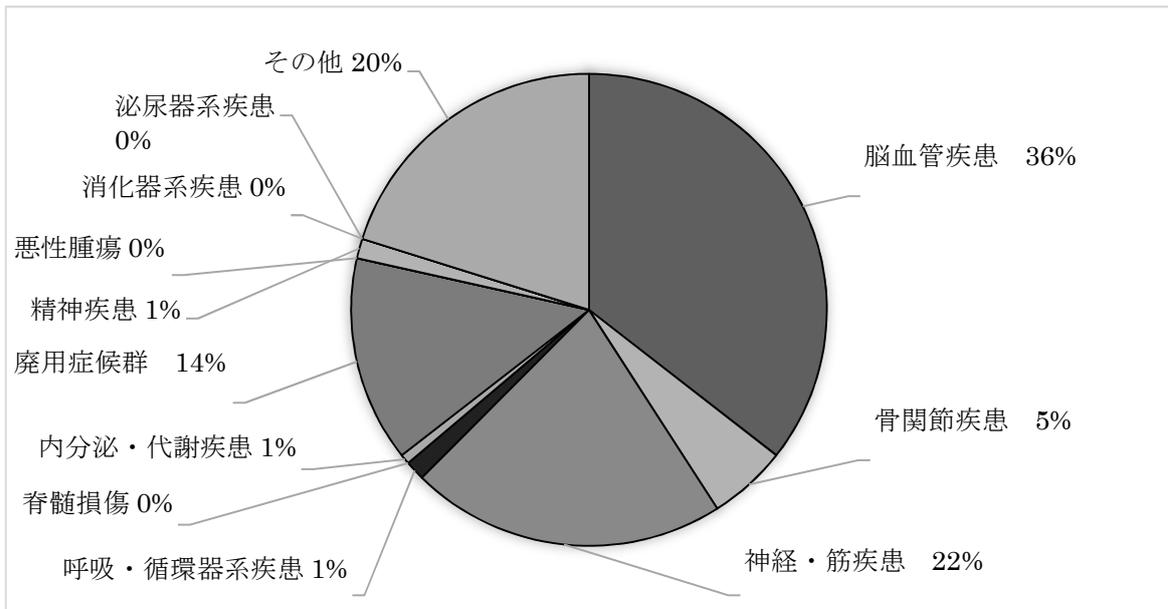
(3) 年齢別・男女別訪問看護利用者内訳

| 年齢 | 男性 | 女性 | 合計 | 構成割合 |
|--------|------|------|------|--------|
| 20才未満 | 0 | 0 | 0 | 0.0% |
| 20～29才 | 0 | 1 | 1 | 0.7% |
| 30～39才 | 0 | 1 | 1 | 0.7% |
| 40～49才 | 1 | 2 | 3 | 2.0% |
| 50～59才 | 8 | 2 | 10 | 6.7% |
| 60～69才 | 9 | 4 | 13 | 8.7% |
| 70～79才 | 17 | 15 | 32 | 21.5% |
| 80～89才 | 27 | 35 | 62 | 41.6% |
| 90才以上 | 5 | 22 | 27 | 18.1% |
| 合計 | 67 | 82 | 149 | 100.0% |
| 平均年齢 | 75.6 | 83.3 | 80.1 | |



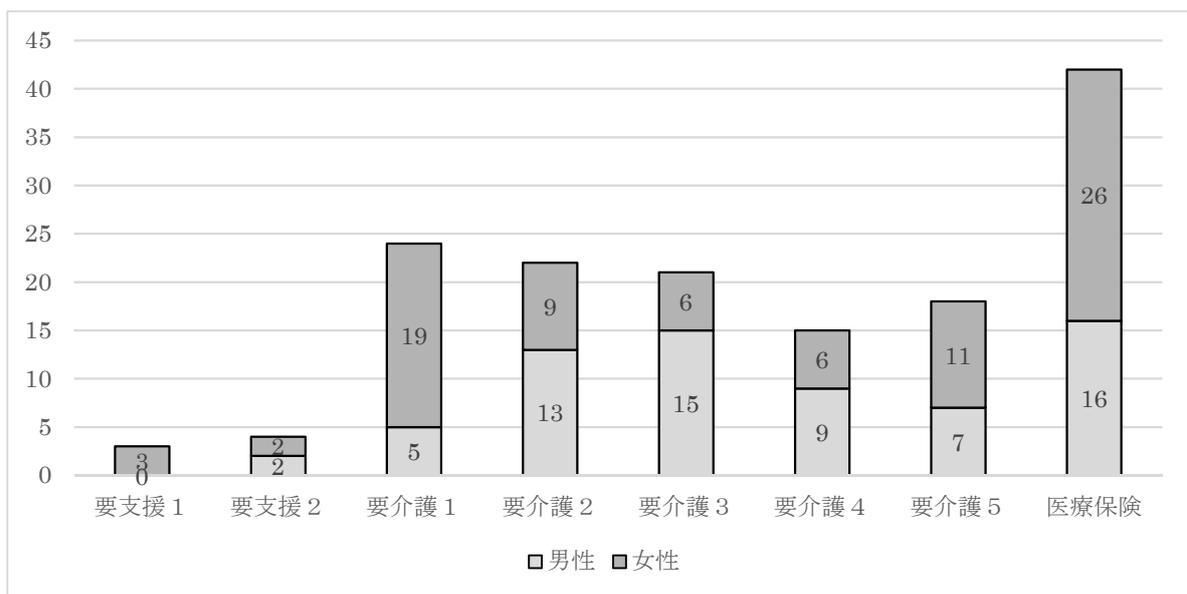
(4) 疾患別訪問看護利用者内訳

| 疾患名 | 患者数 | 構成割合% |
|-----------|-----|--------|
| 脳血管疾患 | 53 | 35.6% |
| 骨関節疾患 | 8 | 5.4% |
| 神経・筋疾患 | 32 | 21.5% |
| 呼吸・循環器系疾患 | 2 | 1.3% |
| 脊髄損傷 | 0 | 0.0% |
| 内分泌・代謝疾患 | 1 | 0.7% |
| 廃用症候群 | 21 | 14.1% |
| 悪性腫瘍 | 0 | 0.0% |
| 精神疾患 | 2 | 1.3% |
| 消化器系疾患 | 0 | 0.0% |
| 内科系疾患 | 0 | 0.0% |
| 泌尿器系疾患 | 0 | 0.0% |
| その他 | 30 | 20.1% |
| 合計 | 149 | 100.0% |



(5) 介護度別分類

| | 男性 | 女性 | 合計 | 構成割合 |
|-------|----|----|-----|--------|
| 要支援 1 | 0 | 3 | 3 | 2.0% |
| 要支援 2 | 2 | 2 | 4 | 2.7% |
| 要介護 1 | 5 | 19 | 24 | 16.1% |
| 要介護 2 | 13 | 9 | 22 | 14.8% |
| 要介護 3 | 15 | 6 | 21 | 14.1% |
| 要介護 4 | 9 | 6 | 15 | 10.1% |
| 要介護 5 | 7 | 11 | 18 | 12.1% |
| 医療保険 | 16 | 26 | 42 | 28.2% |
| 合計 | 67 | 82 | 149 | 100.0% |



(6) 地域別訪問看護利用者内訳

| 地域 | 患者数 | 構成割合% |
|---------|------------|--------|
| 船橋市飯山満町 | 24 | 16.11% |
| 船橋市芝山 | 16 | 10.74% |
| 船橋市前原西 | 16 | 10.74% |
| 船橋市前原東 | 13 | 8.72% |
| 船橋市二宮 | 11 | 7.38% |
| 船橋市薬円台 | 8 | 5.37% |
| 船橋市習志野台 | 7 | 4.70% |
| 船橋市三山 | 6 | 4.03% |
| 船橋市緑台 | 5 | 3.36% |
| 船橋市夏見台 | 4 | 2.68% |
| 船橋市田喜野井 | 4 | 2.68% |
| 船橋市金杉 | 3 | 2.01% |
| 船橋市高根台 | 3 | 2.01% |
| 船橋市習志野 | 3 | 2.01% |
| 船橋市中野木 | 3 | 2.01% |
| 船橋市七林町 | 2 | 1.34% |
| 船橋市新高根 | 2 | 1.34% |
| 船橋市大穴南 | 2 | 1.34% |
| 船橋市東船橋 | 2 | 1.34% |
| 船橋市本町 | 2 | 1.34% |
| 習志野市谷津 | 1 | 0.67% |
| 習志野市藤崎 | 1 | 0.67% |
| 船橋市金杉台 | 1 | 0.67% |
| 船橋市咲が丘 | 1 | 0.67% |
| 船橋市三咲 | 1 | 0.67% |
| 船橋市市場 | 1 | 0.67% |
| 船橋市若松 | 1 | 0.67% |
| 船橋市松が丘 | 1 | 0.67% |
| 船橋市西習志野 | 1 | 0.67% |
| 船橋市滝台 | 1 | 0.67% |
| 船橋市坪井東 | 1 | 0.67% |
| 船橋市二和西 | 1 | 0.67% |
| 船橋市浜町 | 1 | 0.67% |
| 合計 | 149 | 100.0% |

5 地域リハビリテーション拠点事業

| 項目 | 回数 |
|--------------|----|
| リハビリ関係者向け講演会 | 2回 |
| リハビリ関係者向け研修会 | 7回 |
| 市民向け講演会 | 2回 |
| 市民向け研修会 | 3回 |

| | | |
|-------|-----|--------|
| 参加者総数 | 870 | (単位：人) |
|-------|-----|--------|

(資料3 地域リハビリテーション拠点事業活動実績)

6 リハビリ事業

(1) パワーリハビリ教室

① パワーリハビリ教室 利用者数

| | 延べ利用者数 |
|---|--------|
| 計 | 1,426 |

③ 月別パワーリハビリ教室（延べ人数）内訳

| | |
|-----|----|
| 実日数 | 88 |
|-----|----|

(単位：人)

| 区分 | 利用者数 | 登録者数 |
|---------|-------|------|
| 令和6年4月 | 140 | 20 |
| 令和6年5月 | 168 | 20 |
| 令和6年6月 | 77 | 19 |
| 令和6年7月 | 140 | 18 |
| 令和6年8月 | 129 | 16 |
| 令和6年9月 | 77 | 16 |
| 令和6年10月 | 114 | 15 |
| 令和6年11月 | 109 | 13 |
| 令和6年12月 | 65 | 13 |
| 令和7年1月 | 155 | 20 |
| 令和7年2月 | 130 | 20 |
| 令和7年3月 | 122 | 19 |
| 合計 | 1,426 | — |
| 1日平均患者 | 16.2 | — |

(2) パワーリハビリフォローアップ

①パワーリハビリフォローアップ 利用者数

| | 延べ利用者数 |
|---|--------|
| 計 | 13,772 |

②月別パワーリハビリフォロー（延べ人数）内訳

| | |
|-----|-----|
| 実日数 | 243 |
|-----|-----|

(単位：人)

| 区分 | 利用者数 | 登録者数 |
|---------|--------|------|
| 令和6年4月 | 1,163 | 300 |
| 令和6年5月 | 1,117 | 295 |
| 令和6年6月 | 1,058 | 292 |
| 令和6年7月 | 1,223 | 311 |
| 令和6年8月 | 1,085 | 293 |
| 令和6年9月 | 1,087 | 289 |
| 令和6年10月 | 1,238 | 303 |
| 令和6年11月 | 1,175 | 298 |
| 令和6年12月 | 1,142 | 295 |
| 令和7年1月 | 1,145 | 305 |
| 令和7年2月 | 1,134 | 302 |
| 令和7年3月 | 1,205 | 299 |
| 合計 | 13,772 | — |
| 1日平均患者 | 56.7 | — |

(3) プールリハビリ

①プールリハビリ 利用者数

| | 延べ利用者数 |
|---|--------|
| 計 | 4,384 |

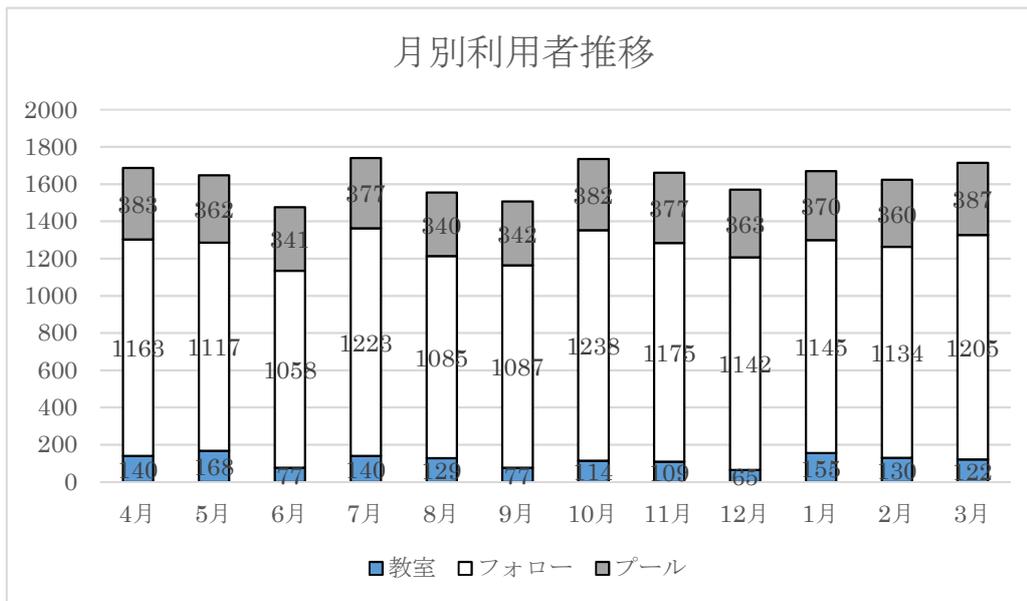
②月別プールリハビリ（延べ人数）内訳

| | |
|-----|-----|
| 実日数 | 243 |
|-----|-----|

(単位：人)

| 区分 | 利用者数 | 登録者数 |
|--------|------|------|
| 令和6年4月 | 383 | 142 |
| 令和6年5月 | 362 | 138 |
| 令和6年6月 | 341 | 138 |
| 令和6年7月 | 377 | 135 |
| 令和6年8月 | 340 | 130 |
| 令和6年9月 | 342 | 131 |

| | | |
|---------|-------|-----|
| 令和6年10月 | 382 | 134 |
| 令和6年11月 | 377 | 134 |
| 令和6年12月 | 363 | 137 |
| 令和7年1月 | 370 | 137 |
| 令和7年2月 | 360 | 138 |
| 令和7年3月 | 387 | 142 |
| 合計 | 4,384 | — |
| 1日平均患者 | 18.0 | — |



Ⅲ 収支状況

令和6年度における船橋市リハビリセンターの収支は以下の通りである。

なお、表示単位未満を端数処理しているため、合計と一致しない場合がある。

単位：千円

| | | 診療所 | 訪問看護 | リハビリ事業 | 地域リハ 拠点事業 | 施設管理 | 合計 |
|-----------------------|-------------------------------|---------|--------|--------|--------------|---------|---------|
| 医 業 収 益 | 利 用 料 | 0 | 0 | 6,854 | 0 | 0 | 6,854 |
| | 指 定 管 理 委 託 料 | 0 | 0 | 18,788 | 0 | 0 | 18,788 |
| | 医 療 ・ 外 来 収 益 | 23,920 | 0 | 0 | 0 | 0 | 23,920 |
| | 介 護 ・ 外 来 収 益 | 213,042 | 0 | 0 | 0 | 0 | 213,042 |
| | 受 託 検 査 ・ 施 設 利 用 収 益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 訪 問 看 護 収 益 | 0 | 42,659 | 0 | 0 | 0 | 42,659 |
| | そ の 他 医 業 収 益 | 1,913 | 498 | 0 | 25,646 | 24,683 | 52,740 |
| 計 | 238,875 | 43,156 | 25,642 | 25,646 | 24,683 | 358,002 | |
| | 保 險 等 査 定 減 | -45 | 9 | 0 | 0 | 0 | -36 |
| | 計 | 238,830 | 43,165 | 25,642 | 25,646 | 24,683 | 357,966 |
| | 医 業 費 用 | 238,413 | 42,715 | 22,890 | 10,489 | 17,127 | 331,633 |
| | 医 業 利 益 | 418 | 450 | 2,752 | 15,157 | 7,556 | 26,333 |
| | 本 部 配 賦 額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 事 業 利 益 | 418 | 450 | 2,752 | 15,157 | 7,556 | 26,333 |
| 医 業 外 収 益 | 受 取 利 息 配 当 金 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 5 |
| | 有 価 証 券 売 却 益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 患 者 外 給 食 収 益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 補 助 金 ・ 負 担 金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | そ の 他 の 医 業 外 収 益 | 307 | 1,018 | 0 | 0 | 0 | 1,325 |
| | 計 | 307 | 1,018 | 5 | 0 | 0 | 1,329 |
| 医 業 外 費 用 | 支 払 利 息 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 有 価 証 券 売 却 損 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 患 者 外 給 食 材 料 費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 診 療 費 減 免 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 貸 倒 損 失 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 貸 倒 引 当 金 繰 入 額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 資 産 に 係 る 控 除 対 象 外 消 費 税 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 繰 延 消 費 税 等 償 却 | 48 | 0 | 0 | 0 | 0 | 48 |
| | そ の 他 医 業 外 費 用 | 21 | 25 | 0 | 0 | 0 | 46 |
| | 計 | 68 | 25 | 0 | 0 | 0 | 93 |
| | 経 常 利 益 | 657 | 1,443 | 2,757 | 15,157 | 7,556 | 27,569 |
| 特 別 利 益 | 固 定 資 産 売 却 益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 施 設 設 備 補 助 金 等 収 入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | そ の 他 の 特 別 利 益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 特 別 利 益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 特 別 損 失 | 固 定 資 産 廃 棄 売 却 損 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 施 設 設 備 補 助 金 等 積 立 金 繰 入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 有 価 証 券 評 価 損 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | そ の 他 の 特 別 損 失 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 特 別 損 失 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 税 引 前 当 期 純 利 益 | 657 | 1,443 | 2,757 | 15,157 | 7,556 | 27,569 |
| | 法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税 負 担 額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 税 金 等 調 整 額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 当 期 純 利 益 | 657 | 1,443 | 2,757 | 15,157 | 7,556 | 27,569 |

医業費用内訳

| | | 診療所 | 訪問看護 | リハビリ事業 | 地域リハ 拠点事業 | 施設管理 | 合計 |
|---------|-----------|---------|--------|--------|--------------|--------|---------|
| 給与費 | 給料 | 164,294 | 30,568 | 13,540 | 5,112 | 0 | 213,514 |
| | 賞与 | 17,766 | 2,686 | 1,941 | 695 | 0 | 23,088 |
| | 賞与引当金繰入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 退職給付費用 | 2,005 | 278 | 193 | 192 | 0 | 2,668 |
| | 法定福利費 | 24,812 | 5,127 | 2,236 | 923 | 0 | 33,099 |
| | 計 | 208,876 | 38,659 | 17,910 | 6,922 | 0 | 272,368 |
| 材料費 | 医薬品費 | 83 | 0 | 0 | 0 | 0 | 83 |
| | 診療材料費 | 615 | 1 | 295 | 0 | 0 | 911 |
| | 医療消耗器具備品費 | 22 | 0 | 14 | 0 | 0 | 36 |
| | 給食用材料費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 720 | 1 | 309 | 0 | 0 | 1,030 |
| 委託費 | 検査委託費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 給食委託費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 寝具委託費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 医事委託費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 清掃委託費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6,369 | 6,369 |
| | その他委託費 | 1,478 | 198 | 233 | 266 | 103 | 103 |
| | 計 | 1,478 | 198 | 233 | 266 | 7,656 | 9,831 |
| | 計 | 1,478 | 198 | 233 | 266 | 14,128 | 16,303 |
| 設備関係費 | 減価償却費 | 1,992 | 280 | 191 | 0 | 40 | 2,503 |
| | 機器賃借料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地代家賃 | 6,172 | 335 | 0 | 0 | 0 | 6,507 |
| | 修繕費 | 228 | 6 | 67 | 0 | 24 | 324 |
| | 固定資産税等 | 20 | 0 | 4 | 0 | 0 | 24 |
| | 機器保守費 | 2,602 | 48 | 325 | 0 | 0 | 2,974 |
| | 機器設備保険料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 車両関係費 | 4,577 | 1,060 | 304 | 0 | 616 | 6,558 | |
| | 計 | 15,592 | 1,729 | 891 | 0 | 680 | 18,891 |
| 研究費 | 研究費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 研修費 | 365 | 67 | 5 | 188 | 0 | 625 |
| | 計 | 365 | 67 | 5 | 188 | 0 | 625 |
| 経費 | 福利厚生費 | 248 | 62 | 71 | 1 | 0 | 382 |
| | 募集採用費 | 499 | 0 | 0 | 0 | 0 | 499 |
| | 旅費交通費 | 30 | 0 | 0 | 0 | 0 | 30 |
| | 職員被服費 | 2,405 | 345 | 105 | 47 | 0 | 2,903 |
| | 通信費 | 2,221 | 982 | 272 | 216 | 0 | 3,691 |
| | 広告宣伝費 | 219 | 21 | 21 | 323 | 0 | 584 |
| | 消耗品費 | 1,670 | 196 | 595 | 163 | 230 | 2,855 |
| | 消耗器具備品費 | 246 | 23 | 9 | 0 | 0 | 278 |
| | 図書費 | 192 | 34 | 0 | 0 | 0 | 226 |
| | 会議費 | 13 | 0 | 0 | 38 | 0 | 51 |
| | 水道光熱費 | 2,076 | 243 | 0 | 0 | 0 | 2,318 |
| | 賃借料 | 110 | 0 | 20 | 0 | 0 | 129 |
| | 保険料 | 272 | 26 | 86 | 0 | 0 | 383 |
| | 交際費 | 0 | 0 | 0 | 7 | 0 | 7 |
| | 諸会費 | 384 | 39 | 0 | 0 | 0 | 423 |
| | 租税公課 | -125 | 90 | 2,296 | 2,319 | 2,089 | 6,669 |
| | 貸倒損失 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 貸倒引当金繰入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 支払手数料 | 525 | 1 | 67 | 0 | 0 | 593 | |
| 寄付金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 雑費 | 396 | 0 | 0 | 0 | 0 | 396 | |
| | 計 | 11,381 | 2,061 | 3,541 | 3,113 | 2,320 | 22,416 |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | | 238,413 | 42,715 | 22,890 | 10,489 | 17,127 | 331,633 |

IV 中期目標の達成状況及び中期行動計画の実施状況報告

1. 利用者及びその家族に対して提供するサービスに関する事項

I 外来患者について

目標1 利用者アンケートによる患者満足度

令和6年度目標：

1. 外来患者へのアンケート調査項目中、以下の①から③について、「満足」と「やや満足」を足した割合がいずれも80%以上、「満足」のみの割合がいずれも60%以上であること。
 - ①当センターのリハビリテーションについてご満足いただけましたか。
 - ②職員の対応についてご満足いただけましたか。
 - ③待ち時間についてご満足いただけましたか。
2. 外来患者へのアンケート調査項目中、以下の④から⑤について、「良くなる」と「現状が維持できる」を足した割合が85%以上であること。
 - ④リハビリを受けることで、あなたの身体機能はどのようになると思っていますか。
 - ⑤リハビリを受けることで、日常生活を送る上での動作（移動（活動範囲の拡大も含む）、食事、排泄、入浴、着替え等）はどのようになると思っていますか。

令和6年度実績：各項目で目標を達成した

1. 外来患者へのアンケート①から③の満足度
 - ①リハビリテーションの質・技術について
「満足」と「やや満足」を足した割合 : 89.5%
「満足」のみの割合 : 57.9%
 - ②職員の対応について
「満足」と「やや満足」を足した割合 : 94.7%
「満足」のみの割合 : 78.9%
 - ③待ち時間について
「満足」と「やや満足」を足した割合 : 84.2%
「満足」のみの割合 : 68.4%
2. 外来患者へのアンケート④から⑤の満足度
 - ④リハビリによる身体機能の変化
「良くなる」と「現状が維持できる」を足した割合 : 89.5%
 - ⑤リハビリによる日常生活の動作
「良くなる」と「現状が維持できる」を足した割合 : 89.5%

目標達成に対する活動状況について

- ① 職員の対応に関する事項の満足度の向上
サービス向上委員会を設置し、センター内ラウンドを月一回実施した。
委員会では令和6年度の接遇目標を作成し、職員に周知した他、接遇の達成度を振り返った。
また、接遇に優れるスタッフを職員の投票により選出し、選ばれたスタッフを表彰した。

② 待合室に関するサービスの向上

外来の待合室については、整理整頓を行い過ごしやすい環境の維持に努め、患者、利用者の待ち時間に対する負担軽減に取り組んだ。

③ 患者・利用者の個人情報保護の徹底による満足度の向上

患者・利用者のプライバシーへの配慮については、個人情報保護規程に基づき、個人情報の保護を徹底するようスタッフへ教育を行った。また、個人情報保護についての方針に関して、センター内へ掲示することや、介護サービス契約に個人情報保護について明記し、センターの方針を周知した。

④ リハビリテーションの提供に当たっては、職員の技術向上研修等で満足度の向上を目指した。

⑤ 御意見箱の設置

満足度調査の結果だけでなく、センター内に御意見箱を設置し、利用者の御意見を傾聴し、真摯に対応する体制を構築したことで、利用者の満足度の向上を図った。

令和6年度の実績に基づく今後の改善点について

外来患者へのアンケート①満足のみ割合が57.9%と目標未達成となったが、それ以外の項目では目標を達成した。

引き続き個別リハビリの内容について十分な説明と同意のもと取り組み、目標を達成するよう努める。待ち時間については「満足」と「やや満足」を足した割合（昨年度94.7%→今年度84.2%）が前年度より減少した。リハビリ会議の調整時ご家族やケアマネジャーの到着が遅れると開始が遅れることになるため、よりわかりやすく案内することで改善に努める。

外来患者へのアンケート④、⑤は目標を達成しているが、法人全体で人材確保に難渋しておりリハビリスタッフの若年化が進んでいるが、令和6年度も更なる満足度の向上を目指し取り組んでいく。

II 通所リハビリ利用者について

目標2 各利用者がリハビリテーションマネジメントにおいて設定した目標の達成率

令和6年度目標：

令和6年4月から令和7年3月において指定通所リハビリテーションの提供を終了した者のうち、リハビリテーションマネジメントにおいて目標とした取り組みを実施した者の占める割合が100分の10以上とする。

令和6年度実績： 15.1%であり、目標を達成できた

- ① 令和6年4月から令和7年3月の評価対象期間における通所リハビリテーション終了者数：53名
- ② ①のうちリハビリテーションマネジメントにおいて目標とした取り組みを実施し、リハビリの提供を終了した利用者数：8名
 ※通所介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、介護予防・日常生活支援総合事業における通所事業や一般介護予防事業等へのサービス移行、または、居宅における家庭での役割を担うことができ通所リハビリテーションを終了した数。
- ③ ①に占める②の割合： 15.1%
 (内訳) 目標達成 8名 (内デイサービスへの移行7名)
 リハビリを開始するにあたっての目標と達成事例

| 開始目標 | 終了時の達成状況 |
|------------------------------|--|
| ・自宅近くの横断歩道を青信号の時間内に渡れるようになる。 | ・当該横断歩道を時間内に渡ることができるようになり、買い物などへ外出しやすくなった。 |

目標達成に対する活動状況について

- ①介護保険制度によるリハビリテーションマネジメントに基づき、通所リハビリテーションを利用する利用者全てにリハビリテーション計画書を作成し、利用者の健康状況、心身機能、活動の参加状況を計画書に記録した。
- ②リハビリを担当する職員が、終了した利用者または、担当の介護支援専門員から、社会参加に資する取組の実施を確認するとともに、電話等の手段を用いて、ADLとIADLの情報を確認した。
- ③終了した利用者の状態の悪化又はその恐れがある場合や参加が維持されていなかった場合は、利用者及び家族に適切な助言を行い、医師又は介護支援専門員へ情報を提供した。

令和6年度の実績に基づく今後の改善点について

通所リハビリを終了した利用者において、リハビリテーションマネジメントの目標を達成した割合は15.1%であった。利用者個々に目標を設定し、リハビリテーションプランを実行してきたことで、設定目標の10%を達成できた。令和7年度も、個々に合った目標を設定し、達成に向け、リハビリテーションプランを実行するとともに、通所系サービス事業所等関係機関と連携を図り、利用者の生活の質向上に寄与するよう、働きかけていく。

目標3 利用者に直接提供する職員のうち、勤続年数7年以上の者の占める割合100分の30以上

令和6年度目標：

利用者に直接提供する職員のうち、勤続年数7年以上のスタッフが占める割合を100分の30以上とする。

令和6年度実績： 44.4%であり、目標を達成した

勤続年数7年以上の者の占める割合：44.4%

(全体の職員数27人　うち勤続年数7年以上の職員数12人)

| 経験年数 | 人数 |
|-------|----|
| 3年未満 | 8人 |
| 3～6年 | 7人 |
| 7～10年 | 4人 |
| 10年以上 | 8人 |

目標達成に対する活動状況について

- ①法人本部に設置する人財育成局を通じ、船橋市リハビリセンター以外の拠点からの人事異動を可能にし、回復期リハビリテーション病棟で法人の理念や、基礎的なリハビリテーション技術を取得した職員を配置することに努めた。

令和6年度の実績に基づく今後の改善点について

リハビリテーションニーズへの対応や質の高い介護サービスを確保する観点から、リハビリスタッフの安定的な確保を図るとともに、更なる資質向上への取り組みを推進した。その結果、直接従事する職員のうち勤続年数7年以上の占める割合は44.4%と目標を達成し、一定以上の質が保たれた介護サービスが提供できたと言える。

令和7年度も引き続き、在宅生活を支援するための介護サービスの充実を図る。

目標4 利用者アンケートによる患者満足度

令和6年度目標：

1. 通所リハビリ利用者へのアンケート調査項目中、以下の①から③について、「満足」と「やや満足」を足した割合がいずれも80%以上、「満足」のみの割合がいずれも60%以上であること。
 - ①当センターのリハビリテーションについてご満足いただけましたか。
 - ②職員の対応についてご満足いただけましたか。
 - ③通所リハビリの計画についての説明は分かりやすかったですか。
2. 通所リハビリ利用者へのアンケート調査項目中、以下の④から⑤について、「良くなる」と「現状が維持できる」を足した割合が85%以上であること。
 - ④リハビリを受けることで、あなたの身体機能はどのようになると思っていますか。
 - ⑤リハビリを受けることで、日常生活を送る上での動作（移動（活動範囲の拡大も含む）、食事、排泄、入浴、着替え等）はどのようになると思っていますか。

令和6年度実績：5項目中、3項目で目標を達成した

1. 通所リハビリ利用者へのアンケート①から③の満足度

①リハビリテーションについて

「満足」と「やや満足」を足した割合 : 90.5%
「満足」のみの割合 : 56.9%

② 職員の対応について

「満足」と「やや満足」を足した割合 : 94.0%
「満足」のみの割合 : 75.9%

③ 通所リハビリの計画について

「満足」と「やや満足」を足した割合 : 76.7%
「満足」のみの割合 : 42.2%

2. 通所リハビリ利用者へのアンケート④から⑤の満足度

④リハビリによる身体機能の変化について

「良くなる」と「現状が維持できる」を足した割合 : 87.1%

⑤リハビリによる日常生活の動作について

「良くなる」と「現状が維持できる」を足した割合 : 91.5%

目標達成に対する活動状況について

① 職員の対応に関する事項の満足度の向上

サービス向上委員会を設置し、センター内ラウンドを月一回実施した。委員会では令和6年度の接遇目標を作成し、全体会議にて周知した他、接遇の達成度を振り返った。
また、接遇に優れるスタッフを職員の投票により選出し、選ばれたスタッフを表彰した。

② 患者・利用者の個人情報保護の徹底による満足度の向上

患者・利用者のプライバシーへの配慮については、個人情報保護規程に基づき、個人情報の保護を徹底するようスタッフへ教育を行った。ま

た、個人情報保護についての方針に関して、センター内へ掲示することや、介護サービス契約に個人情報保護について明記し、センターの方針を周知した。

③リハビリテーションの提供に当たっては、職員の技術向上研修等で満足度の向上を目指した。

④御意見箱の設置

満足度調査の結果だけでなく、センター内に御意見箱を設置し、利用者の御意見を傾聴し、真摯に対応する体制を構築したことで、利用者の満足度の向上を図った。

令和6年度の実績に基づく今後の改善点について

通所リハビリ利用者へのアンケートの満足度は①は「満足」と「やや満足」を足した割合は目標達成（昨年度87.3%⇒今年度90.5%）、「満足」のみの割合は未達成（昨年度49.0%⇒今年度56.9%）だったが昨年度より7.9ポイント上昇し目標達成に近づいてきている。②の職員の対応について「満足」と「やや満足」を足した割合（昨年度94.1%⇒今年度94.0%）は0.1ポイント減少したものの、「満足」のみ（昨年度66.7%⇒今年度75.9%）の割合が9.2ポイント上昇した。③の通所リハビリの計画については「満足」と「やや満足」を足した割合、「満足」のみの割合ともに目標未達成であった。昨年度同様「もう少し説明を聞きたい」というコメントがある一方、「丁寧な説明でありがたい」というコメントもあるため、具体的でわかりやすいリハビリ計画の立案と利用者の個別性に合わせた丁寧な説明を実施するなど改善に努める。

通所リハビリ利用者へのアンケート④、⑤の満足度は目標を達成できた。効果的な質の高いリハビリテーションが実施できている。

令和7年度も更なる満足度の向上を目指し取り組んでいく。

Ⅲ 訪問リハビリ利用者について

目標5 各利用者がリハビリテーションマネジメントにおいて設定した目標の達成率

令和6年度目標：

令和6年4月から令和7年3月において指定訪問リハビリテーションの提供を終了した者のうち、リハビリテーションマネジメントにおいて目標とした取り組みを実施した者の占める割合が100分の20以上とする。

令和6年度実績： 23.0%であり、目標を達成した

- ① 令和6年4月から令和7年3月の評価対象期間における指定訪問リハビリテーション終了者数：135名
- ② ①のうちリハビリテーションマネジメントにおいて目標とした取り組みを実施し、リハビリの提供を終了した利用者数：31名
 ※通所リハビリテーション、通所介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、介護予防・日常生活支援総合事業における通所事業や一般介護予防事業へのサービス移行、または、居宅における家庭での役割を担うことができ訪問リハビリテーションを終了した数。
- ③ ①に占める②の割合： 23.0%

内訳)

- ・ 目標達成 31名（内通所リハビリへ移行は25名）

リハビリを開始するにあたっての目標と達成事例

| 開始目標 | 終了時の達成状況 |
|---|--|
| ・ 下肢筋力を向上させ、砂利道など不整地歩行が安全にできるようになり、ボランティア活動を継続することができる。 | 左記目標を全て達成し、終了。 |
| ・ 転倒による大腿骨骨折後、恐怖心が強くなり、自信をもって屋外歩行ができるようになり、外出機会を保つことができる。 | ・ 早期から訪問リハによる屋外歩行を実施。提案した自主トレも実施し、筋力とともに自信もついため、1か月半で終了。 |
| ・ 回復期リハ病棟退院直後に独居生活の安定のため訪問リハ実施。 | ・ 家事動作も再開しており、独居生活も安定した。ご家族の支援のもと買い物等で外出することができているため終了。 |
| ・ 左大腿骨骨折術後。バランス能力を向上させ、転倒なく、安全に生活を送ることができる。 | ・ バランス能力向上、転倒しにくいようフィットした靴や杖の使い方を練習。安心感が持てたため終了。 |
| ・ 外出機会が減少している。筋力をつけ自信をもって、公共交通機関の利用をすることができるようになる。 | ・ 筋力向上、屋外歩行にも自信を持ち、訪問リハビリは終了。 |

| | |
|---|--|
| <p>・脳梗塞後、回復期リハ病院を経て自宅退院。入浴動作の自立、活動範囲の拡大が目標。</p> | <p>・入浴は一部介助が必要だが、屋外は歩行器を使用し600m可能になった。</p> |
|---|--|

目標達成に対する活動状況について

- ①介護保険制度によるリハビリテーションマネジメントに基づき（平成27年3月27日 老老発0327 第3号 リハビリテーションマネジメント加算等に関する基本的な考え方並びにリハビリテーション計画書等の事務処理手順及び様式例の提示について）訪問リハビリテーションを利用する利用者全てにリハビリテーション計画書を作成し、利用者の健康状況、心身機能、活動の参加状況を計画書に記録した。
- ②社会参加へ移行ができるよう利用者のリハビリテーション計画を基に、リハビリテーションを提供することで、利用者のADLとIADLが向上し、社会参加に資する他のサービス等に移行できるなど、質の高いリハビリテーションを提供した。
- ③リハビリを担当する職員が、終了した利用者に対して、その居宅を訪問し、リハビリテーション計画書の項目を活用しながら、リハビリテーションの提供を終了した時と比較して、ADLとIADLが維持又は改善していることを確認した。
- ④また、居宅に訪問しADLとIADLの状況を確認することが困難な場合は、担当の介護支援専門員から居宅サービス計画の提供を依頼するなど、社会参加に資する取組の実施を確認するとともに、電話等の手段を用いて、ADLとIADLの情報を確認した。
- ⑤終了した利用者の状態の悪化又はその恐れがある場合や参加が維持されていなかった場合は、利用者及び家族に適切な助言を行い、医師又は介護支援専門員へ情報を提供した。

令和6年度の実績に基づく今後の改善点について

訪問リハビリを終了した利用者において、リハビリテーションマネジメントの目標を達成した割合は昨年度と同水準であった（昨年度22.9%）。例年とやり方は変更していない。令和7年度も、個々に合った目標を設定し、達成に向け、リハビリテーションプランを実行するとともに、通所系サービス事業所等関係機関と連携を図り、利用者の生活の質向上に寄与するよう、働きかけていく。

目標6 利用者に直接提供する理学療法士・作業療法士又は言語聴覚士のうち、勤続年数3年以上の者の占める割合100分の30以上

令和6年度目標：

利用者に直接提供する理学療法士・作業療法士又は言語聴覚士のうち、勤続年数3年以上の者の占める割合を100分の30以上とする。

令和6年度実績： 75.0%であり、目標を達成した

勤続年数3年以上の者の占める割合：75.0%

理学療法士 15人 (うち勤続年数3年以上の者) 10人

作業療法士 7人 (うち勤続年数3年以上の者) 7人

言語聴覚士 2人 (うち勤続年数3年以上の者) 1人

目標達成に対する活動状況について

①法人本部に設置する人財育成局を通じ、船橋市リハビリセンター以外の拠点からの人事異動を可能にし、回復期リハビリテーション病棟で法人の理念や、基礎的なリハビリテーション技術を取得した職員を配置することに努めた。

令和6年度の実績に基づく今後の改善点について

リハビリテーションニーズへの対応や質の高い介護サービスを確保する観点から、リハビリスタッフの安定的な確保を図るとともに、更なる資質向上への取り組みを推進した。その結果、直接従事する職員のうち勤続年数3年以上の占める割合は75.0%の実績であり、昨年度の90.9%よりは低下したが、継続して一定以上の質が保たれたサービスが提供できたと言える。

令和7年度も引き続き、在宅生活を支援するためのサービスの充実を図る。

目標7 利用者アンケートによる患者満足度

令和6年度目標：

1. 訪問リハビリ利用者へのアンケート調査項目中、以下の①から③について、「満足」と「やや満足」を足した割合がいずれも80%以上、「満足」の割合がいずれも60%以上であること。
 - ①当センターのリハビリテーションについてご満足いただけましたか。
 - ②職員の対応についてご満足いただけましたか。
 - ③訪問リハビリテーションの計画についての説明は分かりやすかったですか。
2. 訪問リハビリ利用者へのアンケート調査項目中、以下の④から⑤について、「良くなる」と「現状が維持できる」を足した割合が85%以上であること。
 - ④リハビリを受けることで、あなたの身体機能はどのようになると思っていますか。
 - ⑤リハビリを受けることで、日常生活を送る上での動作（移動（活動範囲の拡大も含む）、食事、排泄、入浴、着替え等）はどのようになると思っていますか。

令和6年度実績： 5項目中、4項目で目標を達成した

1. 訪問リハビリ利用者へのアンケート①から③の満足度

①リハビリテーションの質・技術について

「満足」と「やや満足」を足した割合 : 91.0%
「満足」のみの割合 : 67.7%

② 職員の対応について

「満足」と「やや満足」を足した割合 : 96.2%
「満足」のみの割合 : 79.7%

③ 訪問リハビリの計画についての説明

「満足」と「やや満足」を足した割合 : 86.5%
「満足」のみの割合 : 59.4%

2. 訪問リハビリ利用者へのアンケート④から⑤の満足度

④リハビリによる身体機能の変化について

「良くなる」と「現状が維持できる」を足した割合 : 89.9%

⑤リハビリによる日常生活の動作について

「良くなる」と「現状が維持できる」を足した割合 : 89.8%

目標達成に対する活動状況について

① 職員の対応に関する事項の満足度の向上

管理職が基軸となり、訪問リハビリ同行するなどし、従事する職員に対し、訪問療法士としての姿勢・態度、利用者・家族の生活の視点、情報収集・説明責任、訪問リハビリの基本的視点、リスク管理、多職種協同の具現化などについて指導を行った。また、接遇について各職員が日頃気を付けている点をまとめ、共有することで意識付けを行った。

② 患者・利用者の個人情報保護の徹底による満足度の向上

患者・利用者のプライバシーへの配慮については、個人情報保護規程に基づく、個人情報の保護を徹底するようスタッフへ教育を行った。また、個人情報保護についての方針に関して、センター内へ掲示すること

や、介護サービス契約に個人情報保護について明記し、センターの方針を周知した。

③リハビリテーションの提供に当たっては、職員の技術向上研修等で満足度の向上を目指した。

④満足度調査の結果だけでなく、訪問時に利用者の御意見を傾聴し、真摯に対応する体制を構築したことで、利用者の満足度の向上を図った。

令和6年度の実績に基づく今後の改善点について

訪問リハビリ利用者へのアンケート①、②の満足度は、各項目で目標を達成した。③については「満足」のみの割合が59.4%と昨年度の51.4%からは8ポイント増加したが、目標を達成することができなかった。より利用者の立場にたち、分かりやすいリハビリ計画の立案と説明ができるように努める。

訪問リハビリ利用者へのアンケート④から⑤の満足度は目標を達成できた。これらのことから、効果的な質の高いリハビリテーションが提供できたことが裏付けられる。

令和7年度も更なる満足度の向上を目指し取り組んでいく。

IV 訪問看護利用者について

目標8 利用者アンケートによる患者満足度

令和6年度目標：

訪問看護利用者へのアンケート項目①～③について、「満足」と「やや満足」を足した割合がいずれも80%以上、「満足」の割合がいずれも60%以上であること。

- ①当センターのスタッフが提供する訪問看護についてご満足いただけましたか。
- ②職員の対応についてご満足いただけましたか。
- ③訪問看護の計画についての説明は分かりやすかったですか。

令和6年度実績：各項目で目標を達成した

- ① 訪問看護について
 - 「満足」と「やや満足」を足した割合 : 91.2%
 - 「満足」のみ割合 : 82.4%
- ② 職員の対応について
 - 「満足」と「やや満足」を足した割合 : 94.1%
 - 「満足」のみ割合 : 88.2%
- ③ 訪問看護の計画についての説明
 - 「満足」と「やや満足」を足した割合 : 82.4%
 - 「満足」のみ割合 : 76.5%

目標達成に対する活動状況について

- ① 職員の対応に関する事項の満足度の向上
適宜、訪問看護ステーションの所長が職員の訪問に帯同し、訪問看護の内容や接遇を把握し指導を行った。また、接遇について各職員が日頃気を付けている点をまとめ、共有することで意識付けを行った。
- ② 患者・利用者の個人情報保護の徹底による満足度の向上
患者・利用者のプライバシーへの配慮については、個人情報保護規程に基づき、個人情報の保護を徹底するようスタッフへ教育を行った。また、個人情報保護についての方針に関して、センター内へ掲示することや、介護サービス契約に個人情報保護について明記し、センターの方針を周知した。
- ③ 訪問看護の提供に当たっては、職員の知識・技術向上研修等で満足度の向上を目指した。また、利用者ごとに毎月発行する訪問看護計画・報告書を訪問看護ステーション所長が全例を確認し、職員の技術向上を図った。

令和6年度の実績に基づく今後の改善点について

訪問看護利用者へのアンケート①から③の満足度は、各項目で目標を達成した。特に「満足」のみの割合が全項目昨年度よりも増加しており、質や技術、接遇などを意識したサービス提供が行えたと言える。ただ、③の計画の説明について「満足」と「やや満足」を足した割合が減少（昨年度90.0%⇒82.4%）した。より利用者の立場にたち、分かりやすいリハビリ計画の立案と説明ができるように努める。

令和7年度も引き続き、更なる患者満足度の向上を図る。

V リハビリ事業利用者について

目標9 利用者アンケートによる満足度

令和6年度目標：

リハビリ事業利用者へのアンケート項目①～③について、「満足」と「やや満足」を足した割合がいずれも80%以上、「満足」の割合がいずれも60%以上であること。

- ① 職員の対応についてご満足いただけましたか。
- ② 当センターのパワーリハビリについてご満足いただけましたか。
- ③ 当センターのプールリハビリについてご満足いただけましたか。

令和6年度実績： 3項目中、2項目で目標を達成できた

- ① 職員の対応について
「満足」と「やや満足」を足した割合 : 90.2%
「満足」のみの割合 : 78.3%
- ② パワーリハビリについて
「満足」と「やや満足」を足した割合 : 86.6%
「満足」のみの割合 : 61.0%
- ③ プールリハビリについて
「満足」と「やや満足」を足した割合 : 92.9%
「満足」のみの割合 : 50.0%

目標達成に対する活動状況について

- ① 職員の対応に関する事項の満足度の向上
- ② 患者・利用者の個人情報保護の徹底による満足度の向上
職員の対応については「外来患者・通所リハビリ・訪問リハビリ患者または利用者満足度」の活動状況に記載したとおり接遇研修を実施し、スタッフの接遇レベル向上を図った。
また、患者・利用者のプライバシーへの配慮についても、同様な対応をとり満足度の向上を図った。
- ③ 御意見箱の設置
満足度調査の結果だけでなく、センター内に御意見箱を設置し、利用者の御意見を傾聴し、真摯に対応する体制を構築したことで、利用者の満足度の向上を図った。

令和6年度の実績に基づく今後の改善点について

アンケート①と②は目標を達成できた。③のプールリハビリについて「満足のみ」の割合で目標達成できず、割合も昨年度54.4%⇒今年度50.0%と4.4ポイント下がっていた。③は予約がいっぱいで希望時間帯に予約の取り難さを上げる声があり、数字に影響していると考えられる。令和6年7月よりキャンセル待ちの運用を開始し満足度向上に努めたが数字の改善には至らなかった。

全体的に「満足」と「やや満足」合わせれば非常に高い満足度であることから、利用率の高い状況下においても利用者の安全性の確保や、利用し易い施設運営は図れていると考えている。

令和7年度においても引き続き、利用者満足度の維持・向上を図る。

2. 財務内容の改善に関する事項

目標10 診療所部門 経常収支比率

| |
|---|
| 令和6年度目標： 診療所経常収支比率 100%以上 |
| 令和6年度実績： 診療所経常収支比率 100.3% と目標達成した ※各部門の指定管理料を除いた収入の合計を各部門の支出の合計で除して100を乗じて算出した割合で算出。 |
| 目標達成に対する活動状況について |
| ① 増患対策 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 外来リハビリ件数（紹介件数）の増加対策として、船橋市立医療センター等急性期病院へ当クリニックの案内を実施した。・ 外来リハビリ患者の増加を目指し、回復期病棟を持つ近隣医療機関へ紹介を行った。また、船橋市立リハビリテーション病院と当クリニックの空き枠情報を共有、リハ病院退院患者で当クリニックに居住地が近い患者の一覧を共有し、積極的な受け入れを行った。・ 令和6年度は非常勤医師の勤務日数を週3日確保、勤務時間を週20時間から週24時間に増加することができたため、外来・通所の新患外来を積極的に実施。またこれにより訪問診療枠を確保し、訪問リハビリ件数が増加しても3ヶ月に1回の往診枠数を増加できる体制とした。・ 通所リハビリ、訪問リハビリ利用者の増加を目指し、サービスエリア内の居宅介護支援事業所との情報交換を実施した。また、船橋市立リハビリテーション病院と当クリニックの空き枠情報を共有、リハ病院退院患者で当クリニックに居住地が近い患者の一覧を共有し積極的な受け入れを行った。・ センター機関誌を有効活用し、地域・医師会・居宅介護支援事業所・在宅へセンターの情報発信を実施した。 |
| ② 費用の削減 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 患者・利用者の減少時・増加時に無理・無駄の無いスムーズな人員配置が出来るよう、法人本部に設置する人財育成局を通じ、他の拠点との人事異動を可能にし、常に適切な人員配置に努めた。 |

令和6年度の実績に基づく今後の改善点について

| | | | | |
|-------|---------|---------|--------|----------|
| ※外来 | 令和6年度実績 | 19.6人／日 | (前年度対比 | ▲9.6人／日) |
| ※通所リハ | 令和6年度実績 | 46.1人／日 | (前年度対比 | +0.8人／日) |
| ※訪問リハ | 令和6年度実績 | 69.1人／日 | (前年度対比 | +5.0人／日) |

外来は昨年度から9.6人減少している。これは令和6年6月より通所リハビリ利用者への診療はこれまで通りの頻度で実施するが、保険診療料としては料金を徴収せず、通所リハビリのリハビリ会議を兼ねるかたちとし、通所リハビリのリハビリマネジメント加算を取得するという運用に変更したことにより保険診療上は外来診療の件数が減少したためである。運用変更の目的は、診察兼リハビリ会議を行いDr・CM・利用者が直接会って話をする機会が増え利用者の満足度向上を目指すこと、リハビリマネジメント加算をすべての利用者に算定できるという収入面のメリットも出ることである。

通所リハ・訪問リハともにそれぞれ増加した。特に訪問リハは+5.0名増加と実績を大幅に増やすことができた。要因としては訪問リハ専属のマネジャーを1名配置したことで新規利用者受け入れがスムーズにできたことと、キャンセル率が低く推移したことによる。

令和6年度の経常利益は657千円で、診療所経常収支比率は100.3%であった。前年度は-13,121千円で経常収支比率は94.0%であったため、前年度に比べて6.3ポイント増加となった。医業収益は前年度に比べ21,575千円増加、給与費など医業費用も7,376千円増加した。

令和7年度においても、患者・利用者が安心して通院できるよう、また、安心して自宅でリハビリを受けることができるよう、クリニック運営を行っていく。

目標11 訪問看護部門 経常収支比率

| |
|--|
| 令和6年度目標： 訪問看護経常収支比率 100%以上 |
| 令和6年度実績： 訪問看護経常収支比率 103.4% と目標達成した ※各部門の指定管理料を除いた収入の合計を各部門の支出の合計で除して100を乗じて算出した割合で算出。 |
| 目標達成に対する活動状況について ①増患対策 ・サービスエリア内居宅介護支援事業所と情報交換を実施した。 ・訪問看護からの訪問リハ（訪問看護I5）を実施し、訪問看護・訪問リハの併用が必要な利用者についてケアマネジャーが依頼しやすい体制を整え、訪問看護件数の増加を図った。 ・同法人が運営する船橋市立リハビリテーション病院の会議に訪問看護スタッフが参加し、訪問看護に繋げられる患者の掘り起こしを実施。また、船橋市立リハビリテーション病院入院患者で当センターの訪問範囲に住む患者の一覧を共有することにより対象患者を絞りこみ、船橋市立リハビリテーション病院へアプローチできる体制を整えた。 ・令和6年度10月より、所長が船橋市立リハビリテーション病院の病棟管理者であったスタッフへ交代。これまで以上に船橋市立リハビリテーション病院との連携強化を目指した。 ②費用の削減 ・看護師は紹介会社経由で採用すると高額な紹介手数料が発生する。可能な限り紹介会社を使わなくてすむよう、同法人他拠点の退職希望者への声掛けなどを行うことで、費用を抑えた採用につなげた。 |
| 令和6年度の実績に基づく今後の改善点について ※訪問看護 令和6年度実績 17.7人／日（前年度対比 ▲3.1人／日） 船橋市立リハビリテーション病院からの紹介件数が20件（令和3年度4件、令和4年度18件、令和5年度17件）と昨年度より3名増加した。 令和6年度の経常利益は1,443千円で、訪問看護経常収支比率は103.4%であった。前年度は6,876千円で経常収支比率は115.8%であり、前年度比で見ると12.4ポイント減少した。要因としては、医業収益が2,523千円減少、医業費用は3,250千円増加したためである。主な費用の増加要因は令和6年度4月から9月まで所長交代の引継ぎのため看護師管理者1名増加し運営したことによる人件費の増加によるもの。令和7年度においては、引き続き船橋市立リハビリテーション病院との連携を強化し利用者増加を図っていく。 |

3. その他管理に関する重要事項

目標12 毎年度実施計画を立て地域リハビリテーション拠点事業を行う

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|-------|--------------------|------|------------------------|------|--------------------|------|-----------------|-------|------------|------|------------|------|-----------------|------|-----------------|------|----------------------------|------|--|--|-----------------------------------|--|
| <p>令和6年度目標：</p> <p>地域リハビリテーション拠点事業の実施計画に定めた事業内容を最低限行うこと。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>令和6年度実績：目標に対し全て達成した。なお、グループワークなど集合形式での研修会が有効な場合は集合研修を、Web形式で行うことが有効なものはWebで実施した。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>目標達成に対する活動状況について</p> <table border="0"> <tr> <td>①リハビリセンターパンフレット作成</td> <td>1回/年</td> </tr> <tr> <td>②地域リハビリ推進用リーフレットの作成、配布</td> <td>2回/年</td> </tr> <tr> <td>③リハビリセンター刊行物の作成、配布</td> <td>4回/年</td> </tr> <tr> <td>④ホームページに最新情報を掲載</td> <td>11回/年</td> </tr> <tr> <td>⑤市民向け講演会開催</td> <td>2回/年</td> </tr> <tr> <td>⑥市民向け研修会開催</td> <td>3回/年</td> </tr> <tr> <td>⑦リハビリ関係者向け講演会開催</td> <td>2回/年</td> </tr> <tr> <td>⑧リハビリ関係者向け研修会開催</td> <td>7回/年</td> </tr> <tr> <td>⑨維持期リハビリの実態と潜在的なニーズの調査研究報告</td> <td>2回/年</td> </tr> <tr> <td>⑩船橋市地域リハビリテーション協議会、ひまわりネットワーク地域リハ推進委員会等のメンバーと積極的に連携を行った。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑪リハビリセンター内にリハビリ相談窓口を設置し、総合相談を行った。</td> <td></td> </tr> </table> <p>(資料3 地域リハビリテーション拠点事業実績)</p> | | ①リハビリセンターパンフレット作成 | 1回/年 | ②地域リハビリ推進用リーフレットの作成、配布 | 2回/年 | ③リハビリセンター刊行物の作成、配布 | 4回/年 | ④ホームページに最新情報を掲載 | 11回/年 | ⑤市民向け講演会開催 | 2回/年 | ⑥市民向け研修会開催 | 3回/年 | ⑦リハビリ関係者向け講演会開催 | 2回/年 | ⑧リハビリ関係者向け研修会開催 | 7回/年 | ⑨維持期リハビリの実態と潜在的なニーズの調査研究報告 | 2回/年 | ⑩船橋市地域リハビリテーション協議会、ひまわりネットワーク地域リハ推進委員会等のメンバーと積極的に連携を行った。 | | ⑪リハビリセンター内にリハビリ相談窓口を設置し、総合相談を行った。 | |
| ①リハビリセンターパンフレット作成 | 1回/年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ②地域リハビリ推進用リーフレットの作成、配布 | 2回/年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③リハビリセンター刊行物の作成、配布 | 4回/年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④ホームページに最新情報を掲載 | 11回/年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑤市民向け講演会開催 | 2回/年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑥市民向け研修会開催 | 3回/年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑦リハビリ関係者向け講演会開催 | 2回/年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑧リハビリ関係者向け研修会開催 | 7回/年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑨維持期リハビリの実態と潜在的なニーズの調査研究報告 | 2回/年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑩船橋市地域リハビリテーション協議会、ひまわりネットワーク地域リハ推進委員会等のメンバーと積極的に連携を行った。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑪リハビリセンター内にリハビリ相談窓口を設置し、総合相談を行った。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>令和6年度の実績に基づく今後の改善点について</p> <p>令和6年度は、対面式で行う研修と、Web (ZOOM) を活用して行う研修を併用し、参加者からは一定の評価を得られた。連携を深める目的で行う研修は対面で、講演等知識を得ることを目的とする研修会はWebで行うことが参加者の利便性を考えると良さそうであるため実施している。この特性を生かしつつ、令和7年度も以下の項目を継続して実施するとともに、高い満足度が得られるよう努力する。</p> <table border="0"> <tr> <td>①リハビリセンターパンフレットの更新</td> <td>1回/年</td> </tr> <tr> <td>②地域リハビリ推進用リーフレットの作成、配布</td> <td>2回/年</td> </tr> <tr> <td>③リハビリセンター刊行物の作成、配布</td> <td>4回/年</td> </tr> <tr> <td>④ホームページに最新情報を掲載</td> <td>2回/年</td> </tr> <tr> <td>⑤市民向け講演会開催</td> <td>2回/年</td> </tr> <tr> <td>⑥市民向け研修会開催</td> <td>2回/年</td> </tr> <tr> <td>⑦リハビリ関係者向け講演会開催</td> <td>2回/年</td> </tr> <tr> <td>⑧リハビリ関係者向け研修会開催</td> <td>3回/年</td> </tr> <tr> <td>⑨維持期リハビリの実態と潜在的なニーズの調査研究報告</td> <td>2回/年</td> </tr> <tr> <td>⑩船橋市地域リハビリテーション協議会、ひまわりネットワーク地域リハ推進委員会等のメンバーと積極的に連携を行う。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑪リハビリセンター内にリハビリ相談窓口を設置し、総合相談を行う。</td> <td></td> </tr> </table> | | ①リハビリセンターパンフレットの更新 | 1回/年 | ②地域リハビリ推進用リーフレットの作成、配布 | 2回/年 | ③リハビリセンター刊行物の作成、配布 | 4回/年 | ④ホームページに最新情報を掲載 | 2回/年 | ⑤市民向け講演会開催 | 2回/年 | ⑥市民向け研修会開催 | 2回/年 | ⑦リハビリ関係者向け講演会開催 | 2回/年 | ⑧リハビリ関係者向け研修会開催 | 3回/年 | ⑨維持期リハビリの実態と潜在的なニーズの調査研究報告 | 2回/年 | ⑩船橋市地域リハビリテーション協議会、ひまわりネットワーク地域リハ推進委員会等のメンバーと積極的に連携を行う。 | | ⑪リハビリセンター内にリハビリ相談窓口を設置し、総合相談を行う。 | |
| ①リハビリセンターパンフレットの更新 | 1回/年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ②地域リハビリ推進用リーフレットの作成、配布 | 2回/年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③リハビリセンター刊行物の作成、配布 | 4回/年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④ホームページに最新情報を掲載 | 2回/年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑤市民向け講演会開催 | 2回/年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑥市民向け研修会開催 | 2回/年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑦リハビリ関係者向け講演会開催 | 2回/年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑧リハビリ関係者向け研修会開催 | 3回/年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑨維持期リハビリの実態と潜在的なニーズの調査研究報告 | 2回/年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑩船橋市地域リハビリテーション協議会、ひまわりネットワーク地域リハ推進委員会等のメンバーと積極的に連携を行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑪リハビリセンター内にリハビリ相談窓口を設置し、総合相談を行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |